

年 表

神戸市交通局前史 明治19年～大正6年

年 号	事 項	内 外 事 情
明治19年 (1886)	11・3 神戸に初の電灯（試点火）ともる	7・5 東京電灯開業、わが国初の電灯会社
明治20年 (1887)	10・25 神戸電灯会社設立、仮事務所を元町通4丁目に設置	1・22 東京電灯が初点灯 5・18 私設鉄道条令公布 11・29 東京電灯、市内への送電を開始
明治21年 (1888)	1・26 神戸電灯、事業認可、資本金10万円、事務所を栄町6丁目に移転し、発電所を同事務所内に設置、白熱灯16燭光400灯用発電機4台を装備 9・10 神戸電灯開業、湊川神社社頭と相生橋上に点灯 11・3 神戸電灯、市内に点灯開始 12・31 市内点灯数642灯に（開業当時の全市戸数は2万8,511戸、人口は11万5,954人）	4・25 市制、町村制公布 11・1 山陽鉄道（現：国鉄）兵庫－明石間開通 12・23 山陽鉄道、明石－姫路間開通
明治22年 (1889)	4・1 神戸市政実施、神戸区と葺合村、荒田村を合わせて神戸市となる（人口13万4,704人、面積21.28平方km）	2・11 大日本帝国憲法公布 5・－ 大阪電灯開業 6・21 神戸市、開庁式を挙行 7・1 東海道線新橋－神戸間全通（1日1往復・片道20時間） 7・－ 京都電灯開業 9・1 山陽鉄道、兵庫－神戸間開通
明治23年 (1890)		5・4 東京・上野公園での第3回内国勸業博覧会でわが国初の電車運転 5・17 府県制・郡制公布 9・－ 鉄道庁官制公布、鉄道局、鉄道庁と改称し内務省所管となる
明治24年 (1891)		11・－ 京都市、水力発電による電気供給事業開始（最初の公営電気事業で、水力発電としてもわが国最初） 12・－ 電気営業取締規則制定
明治25年 (1892)		7・21 鉄道庁、逓信省所管に
明治26年 (1893)	9・－ 神戸電気鉄道(株)設立、経営免許出願 10・－ 神戸電灯、臨時株主総会において電鉄事業の兼営を決定（その後出願に至らず） 11・－ 神戸電灯、株式会社となる（商法施行に伴うもの）	

年 号	事 項		内 外 事 情	
明治27年 (1894)			8・1	日清戦争勃発
明治28年 (1895)			1・31 4・17	京都電気鉄道、塩小路－伏見油掛間開通、わが国初の市内電車 日清講和条約調印
明治29年 (1896)	4・1	林田村、湊村、池田村、尻池村の4か村を神戸市に編入	5・-	電気事業取締規則公布（6月1日施行）
明治30年 (1897)	4・- 11・-	神戸電灯、供給区域を神戸市全域に拡張 神戸電灯、発電所を兵庫入江通7丁目に移転		
明治31年 (1898)	5・6	神戸開港30年記念祝典を挙行	11・26	摂津電気鉄道設立（資本金150万、翌32年7月阪神電気鉄道と改称）
明治33年 (1900)	4・- 8・-	神戸電灯、1万灯記念祝賀を挙行 神戸電灯、凍水製造販売事業を兼営	3・16 5・15	私設鉄道法、鉄道営業法公布 北清事変勃発 <この年> わが国に初めて自動車が出現
明治34年 (1901)			5・- 5・27 10・25	京阪財界恐慌、各銀行取り付け受ける 山陽鉄道、神戸－下関間全通 軌道条例取扱心得公布
明治35年 (1902)	9・5	神戸電灯、供給区域を武庫郡須磨村まで拡張	1・30	日英同盟条約調印
明治36年 (1903)			1・- 9・12	広島でバス事業始まる（わが国のバス第1号） 大阪市営電気軌道、花園橋－築港栈橋間開通（わが国初の市営電車）
明治37年 (1904)			2・10	日露戦争勃発
明治38年 (1905)			1・1 4・12 8・10 9・5	通行税設定 阪神電鉄、大阪（出入橋）－神戸（三宮）間開通 ポーツマス平和会議 日露講和条約調印

年 号	事 項	内 外 事 情
明治39年 (1906)	3・－ 神戸電灯、動力用電力の供給開始 5・－ 神戸電気鉄道、設計及び発起人を変更し資本金を増額、発起人、村野山人ほか68人、資本金600万円 11・17 神戸電気鉄道、軌道敷設特許 12・－ 神戸電灯、資本金を120万円に増資	3・31 鉄道国有化法公布 10・－ 宇治川電気設立（資本金1,250万円） 12・ 1 山陽鉄道、国有となる
明治40年 (1907)		4・ 1 鉄道作業局、帝国鉄道庁と改称 7・－ 財界恐慌、各地銀行支払い停止
明治41年 (1908)	11・－ 神戸電灯、葺合発電所を増設（総発電能力4,800kW）	10・ 5 阪神電鉄、電灯電力供給事業を開始
明治42年 (1909)	6・－ 神戸電灯、資本金を240万円に増資 <この年> 神戸電気鉄道、事務所を浜崎通4丁目に設置し、その後吾妻通1丁目に新築移転	10・26 伊藤博文、ハルピンで暗殺される
明治43年 (1910)	1・－ 神戸電灯、創業後初めて職制を確立 4・ 5 神戸電気鉄道開通（春日野－兵庫駅前、5.857km） 8・11 神戸市、神戸電気鉄道と報償契約を締結 12・－ 神戸電灯、資本金を500万円に増資	3・10 箕面有馬電気軌道（現：阪急電鉄）、宝塚線、箕面支線開通 3・15 兵庫電気軌道（現：山陽電鉄）、兵庫－須磨間開通 4・15 京阪電気鉄道、大阪（天満橋）－京都（五条）間開通
明治44年 (1911)	7・15 神戸電気鉄道、電気供給開始、神戸電灯との競争激化	2・28 大阪市、電気鉄道部設置（大正12年10月電気局に） 3・30 電気事業法公布（10月1日実施） 8・1 東京市、電気供給及び電気軌道事業開始（東京鉄道を買収）
明治45年 (1912)	2・18 神戸電灯、本社事務所を栄町6丁目から湊町1丁目に新設、移転 8・30 神戸電灯、楠橋及び番町変電所を増設 9・－ 神戸電灯、湊川発電所（6,000kW）増設 9・28 神戸市、神戸電気鉄道と報償契約を更新（同社の電灯・電力供給事業開始に伴うもの） 12・28 神戸電気鉄道、布引線（滝道－熊内1）開通あわせて熊内（布引）、西柳原車庫を増設	6・15 東海道線特急列車運転開始 7・30 明治天皇崩御、大正と改元 11・ 1 阪神電鉄、神戸終点を滝道まで延伸

年 号	事 項	内 外 事 情
大正 2 年 (1913)	1・7 神戸電灯、神戸電気鉄道両社代表、仲裁者の調停案に基づき合併仮契約書に調印 2・20 電灯、電鉄両社合併申請に対し、逋信大臣より認可 2・26 電灯・電鉄両社合併軌道敷設特許権継承申請に対し、内閣総理大臣、内務大臣許可 4・29 神戸電灯、三宮及び相生橋変電所を増設 5・1 神戸電灯、神戸電気鉄道、合併し神戸電気(株)発足 凍氷製造販売事業を廃止 6・7 神戸電気、兵庫線の一部(楠公前-島上町)開通 8・12 神戸電気、兵庫線の残部(島上町-西柳原)開通 9・3 神戸電気、平野線(有馬道-平野)開通	2・13 憲政擁護運動起こり、神戸市でも民衆騒擾優化、軍隊出動 8・- 宇治川電気営業開始
大正 3 年 (1914)	6・30 神戸電気、報償契約を継承し、神戸市と同契約を更新締結 8・25 神戸電気、湊町変電所(電車専用)を一般電灯・電力用に併用	4・1 宝塚少女歌劇初公演 4・30 大阪電気軌道(現:近鉄)、大阪(上本町)-奈良間開通 7・28 第1次世界大戦勃発 12・18 東京駅竣工
大正 4 年 (1915)	1・8 神戸電気、運河変電所を増設	8・8 第1回全国中学校優勝野球大会開かれる
大正 5 年 (1916)	6・- 神戸電気、兵庫発電所(1,700kW)を廃止 7・20 神戸市、神戸電気に対し買収を打診 9・11 神戸市会、電気事業買収を満場一致で可決 9・12 第1回買収交渉委員会を開催、妥結に至らず 9・14 報償契約に基づき、神戸市、正式に買収を通告 10・16 神戸電気、市の買収に応じぬ旨回答 10・21 神戸商業会議所滝川会頭、市、会社仲裁に立つ 11・18 滝川会頭、仲裁裁定案を出す 12・1 神戸市、神戸電気、買収契約書に調印	<この年> 世界大戦の影響で産業活況
大正 6 年 (1917)	3・30 神戸市会、買収契約書を承認 4・7 電気事業譲渡を主務大臣に申請 6・30 主務大臣より事業譲渡許認可 7・31 神戸電気解散	4・12 兵庫電気軌道、兵庫-明石間全通 5・8 第3回極東オリンピック大会開かれる 10・15 神戸にわが国初の公立女子商業学校

神戸市交通局史 大正6年～平成29年

年号	事項	内外事情
大正6年 (1917)	<p>8・1 神戸市電気局発足、市営事業として軌道・電気両事業を開始</p> <p>事業規模概要</p> <p>▷軌道事業関係</p> <p>線路巨長12.27km、車両数94両（木造単車90、撒水車4）、車庫・工場施設4（葺合車庫・工場、熊内車庫・工場、兵庫車庫、柳原車庫）、運賃制度全線7区、1区2銭（ほかに通行税1銭）の区間制、月平均乗客277万2,810人、収入8万4,150円</p> <p>▷電気事業関係</p> <p>電灯契約数26万2,229灯（需用家数9万4,361戸）、電力契約量8,290馬力、発電所数3（湊川、運河、葺合）、出力1万3,600kW、変電所数7三宮、相生橋、楠橋、番町、運河（以上一般電灯・電力供給専用）、湊町、琴緒町（以上電鉄供給と併用）</p>	<p>11・7 ロシア革命</p> <p><この年></p> <p>工場電化率50%超える</p>
大正7年 (1918)	<p>3・19 有馬道変電所の供用を開始</p> <p>5・1 電力料金を改定</p> <p>1kW時につき1銭の値上げ</p> <p>5・28 湊川発電所の6,000kW発電機増設工事完成、発電開始</p> <p>10・1 市電料金を区間制から市内均一制4銭（通行税共）に改定</p>	<p>11・1 第1次世界大戦終結</p> <p><この年></p> <p>各地で米騒動起こる、労働争議が続発し社会不安増す</p>
大正8年 (1919)	<p>3・1 市会に『電気事業検査委員会』設置</p> <p>3・10 乗客増加対策として中央座席のみを残した“立ちん坊電車”を運転</p> <p>4・1 車内の混雑整理のため、市電に補助車掌を採用</p> <p>電灯・電力・電車料金を改定</p> <p>市電運賃5銭（通行税共）に、あわせて早朝割引、通学回数券を新設</p> <p>4・5 市電熊内延長線（熊内1丁目－上筒井）開通、これで第1期線全通</p>	<p>1・－ 阪急電鉄、神戸市内乗入れを出願</p> <p>内務省、「自動車取締令」を制定</p> <p>6・28 ベルサイユ平和条約調印</p> <p>8・9 国鉄、神戸市内高架線建設の測量開始</p> <p>9・－ 大正水力電気設立</p> <p>12・－ 日本電力設立</p>
大正9年 (1920)	<p>2・－ 市電第2期線・発電所拡張のため電気事業拡張部を新設</p> <p>4・1 電灯・電力・電車料金を改定</p> <p>市電運賃6銭（通行税共）に</p> <p>4・24 市電低床式ボギー車を製作</p> <p>5・－ 市電2期線敷設特許変更許可</p> <p>8・4 葺合変電所（電灯・電力用）を増設</p>	<p>1・16 国際連盟発足</p> <p>2・2 東京市街自動車、初めて女子車掌を採用</p> <p>4・1 武庫郡須磨町を神戸市に編入</p> <p>5・15 鉄道省設置（鉄道院廃止）</p> <p>7・16 阪急電鉄、大阪－神戸（上筒井）間開通</p>

年 号	事 項	内 外 事 情
	10・30 市電運転系統を整備し、イ、ロ、ハ……の標識板を採用 11・15 わが国初の婦人専用電車を運行（23日まで）	10・1 第1回国勢調査実施（総人口全国5,596万3,053人、兵庫県230万1,799人、神戸市60万8,344人）
大正10年 (1921)	8・25 市電山手・上沢線（2期1号線）の一部（加納町3丁目－大倉山）開通 9・5 須磨変電所（電灯・電力用）を増設 10・1 市電既成線の軌道補修で添板式電気溶接法による軌条溶接の実験を開始 10・11 楠橋変電所に初めて外国製回転変流機を設備し、電 車用と併用 10・25 市電山手・上沢線（2期1号線）の一部（大倉山－ 楠町6丁目）開通 11・12 神戸市電気局共済組合設立 12・1 電灯・電力料金を値下げ、あわせてわが国で初めて 従量制を実施 12・25 市電山手・上沢線（2期1号線）の一部（楠町6丁 目－上沢通7丁目）開通	4・1 横浜市、横浜電気鉄道を買収し、 電気局を創設 4・13 軌道法公布（軌道条例廃止） 6・10 時の記念日制定される 7・－ 神戸三菱・川崎両造船所で大争 議 11・4 原敬首相、東京駅で暗殺される
大正11年 (1922)	1・7 市電山手・上沢線（2期1号線）の一部（上沢通7 丁目－五番町2丁目）開通 3・－ 大正水力電気と受電契約を締結 3・1 初めて他社との連絡運輸（大阪－明石間）を実施 番町変電所を電車用に併用 3・23 宇治川電気からの受電設備工事完成 4・10 市電山手・上沢線（2期1号線）の残部（五番町2 丁目－四番町7丁目）開通、同線全通 6・14 和田変電所（電灯・電力・電車用）を増設 7・12 市電湊川線（2期3号線）開通 市電尻池線（2期4号線）の一部（四番町7丁目－ 菅原通5丁目）開通 8・10 琴緒町変電所（電車用）を電灯・電力用に 8・17 市電3期敷設特許 8・31 長田運輸課係員詰所完成 9・30 長田工場及び同車庫を新設 教習所（運輸課内）を新設 10・5 湊川発電所の1万2,500kW発電機増設完了、送電開 始 10・18 湊川発電所内の1万2,500kW発電機故障 12・3 市電楠公東門線（2期2号線）開通 12・15 湊川発電所の発電機故障のため、川崎造船所（現： 川崎重工）より臨時受電（大正13年4月まで）	2・6 ワシントン海軍軍備制限条約調 印 4・22 健康保険法公布（大正15年7月 1日施行） 8・1 名古屋市、名古屋電気鉄道を買 収し電気局を創設 10・－ 大正水力電気、宇治川電気と合 併

年 号	事 項	内 外 事 情
大正12年 (1923)	1・23 湊川発電所の6,000kW発電機故障 3・30 市会に再び「電気局検査委員会」設置される 4・ 1 市電葎合工場を廃止 4・ 5 市電尻池線（2期4号線）の一部（菅原5丁目－東尻池交差点）開通 4・ 6 宇治川電気からの受電始まる（当初は4,000kW） 6・30 わが国初の鋼鉄車（スチールカー）を製作（G型低床四輪客車、20両） 9・24 市電布引乗務員詰所完成 10・－ 宇治川電気からの受電量確保のため、同社揖斐川本線と連絡、あわせて葎合変電所の受電設備を拡充 11・14 市営後初の本格的な乗客交通調査を実施（16日まで） 12・20 市電明治跨線橋、御幸跨線橋完成 12・25 市電尻池線（2期4号線）の一部（東尻池交差点－松原通1丁目）開通	8・19 神戸姫路電気鉄道（現：山陽電鉄）明石－姫路間開通 9・ 1 関東大震災 10・ 1 大阪市、大阪電灯を買収、電灯・電力事業を市営、電気鉄道部を電気局と改称
大正13年 (1924)	2・20 市電運転系統を改正あわせて系統板イ、ロ、ハを1、2、3の数字に 2・26 市電和田跨線橋完成 3・22 和田変電所（電灯・電力用）を電車用に併用 4・ 1 市電和田線（2期5号線）の一部（笠松7丁目－高松町）開通 7・20 市電尻池線（2期4号線）の残部（松原通1丁目－築島）開通、同線全通 7・30 市電和田車庫完成 8・ 5 市電和田線（2期5号線）の一部（今出在家2丁目－笠松7丁目）開通、この工事から電車線は側柱式を採用 8・23 添板式電気溶接法による軌条接続、上筒井付近改修工事において効果を発揮し、以後新線建設に実施	1・18 東京市バス、営業開始 4・15 京都市電気局発足（電気部を改称） 7・ 1 メートル法実施 8・ 1 甲子園球場完成 8・28 阪神電鉄、神戸市地下乗入れを出願 11・－ 第1回全国選抜中等学校野球大会開かれる
大正14年 (1925)	3・－ 宇治川電気からの7,000kW受電を目的とした琴緒町変電所の受電用設備工事完成（使用認可は同年4月23日） 3・ 7 市電和田線（2期5号線）の一部（中之島－今出在家町2丁目）開通 7・ 1 湊川発電所の1万2,500kW発電機（予備機）の増設工事完了 8・ 5 宇治川電気からの受電量を最大4,000kWから7,000kWに増加 12・ 1 市電須磨線（3期1号線）の一部（東尻池交差点－荻藻通1丁目）開通、軌条接続は、添板式電気溶接法、電車線は単線によるカテナリー式吊架法を採用 12・11 千歳変電所（電灯・電力・電車用）を増設	1・ 6 摩耶ケーブル開通 4・22 治安維持法公布 5・ 5 普通選挙法公布 7・12 ラジオ放送始まる（JOAK）

年 号	事 項	内 外 事 情
大正15年 (1926)	3・4 市電須磨線（3期1号線）の一部（苅藻通1丁目－鷹取町）開通 4・1 通行税廃止 4・29 第2期発電拡張（中央発電所新設）を逡信大臣に申請 6・10 市内主要か所（14か所）に電気時計を設置 6・26 市電須磨線（3期1号線）の一部（鷹取町－離宮道）開通 11・9 宇治川電気からの受電量を1万3,000kW増加、あわせて2万kWに 12・7 番町変電所に初めて国産回転変流機を設備 12・8 元町6丁目など主要市電停留場に木造式乗降場を試験的に設置	2・1 神戸市内の電話、自動交換となる 8・20 日本放送協会（NHK）設立 12・25 阪神国道竣工 大正天皇崩御、昭和と改元
昭和2年 (1927)	3・1 市電須磨線（3期1号線）の一部（離宮道－須磨浦通4丁目）開通、同線全通 4・－ 宇治川電気からの受電量を2,000kW増加、2万2,000kWに 4・1 葦合・運河両発電所、運転休止 テルミット溶接法による軌条接続を試験開始 7・25 大口需用家変電設備としてダンロップ内に変電所を設置 11・28 大口需用家変電施設として神戸製鋼第1変電所を設置	1・1 宇治川電気、兵庫電気を合併し、同社電鉄部（現：山陽電鉄）となる 2・25 大阪市バス、営業開始 3・21 鉄道省（JR）新造客車はすべて半鋼製とする方針を決定 4・1 宇治川電気、神戸姫路電鉄を合併 4・3 鈴木商店倒産 4・18 台湾銀行、近江銀行等金融機関の取り付けで休業続出し、財界、金融界の不安極度に達す 7・1 阪神国道電軌、大阪（野田）－神戸（脇浜）間開通 12・30 東京・上野－浅草間地下鉄開通
昭和3年 (1928)	4・－ 宇治川電気からの受電量を2,000kW増加、2万4,000kWに 7・31 市電東尻池乗務員詰所完成 8・14 市電高松線（3期2号線）の一部（東尻池6丁目－東尻池7丁目）開通 11・19 高松跳開橋の完成で、市電和田線（2期5号線）高松線（3期2号線）が全通 11・24 大口需用家変電施設として葦合川崎変電所を増設	1・1 神港タクシー、神戸市内でバス事業を開始 4・1 阪神電気鉄道、阪神国道電軌を買収 5・10 京都市バス、営業開始 8・2 第9回オリンピックで日本初優勝 8・26 宇治川電鉄（現：山陽電鉄）、兵庫－姫路間直通運転開始 11・5 陸運行政、逡信省から鉄道省に移管（施行は昭和8年から） 11・10 横浜市バス、営業開始

年 号	事 項	内 外 事 情
		11・28 神戸有馬電気鉄道（現：神戸電鉄）、神戸（湊川）－有馬温泉間開通
昭和4年 (1929)	2・4 市電東部国道線（3期5号線）、税関線（同6号線）敷設特許 3・25 電気局と日本電力との電力供給協定成立 3・30 バス事業を出願 第2期発電拡張計画（当初昭和3年度完成）を3年繰り延べ（昭和6年度完成予定） 4・1 市電料金を6銭に改定、あわせて特別割引往復券及び団体貸切制度を新設 市電車両の近代化（木造車→鋼鉄車）に着手 市電・電車線を中央柱式から側柱式に改修する工事に着手 8・15 三宮駅前など30停留場をコンクリート造りの乗降場に改築 9・14 電気供給区域の拡張（灘区）を申請	4・1 六甲村・西灘村・西郷町の3か町村、神戸市に編入、灘区発足 阪国バス、営業を開始 4・2 六甲山乗合自動車、営業を開始 4・7 阪神パーク開園 4・15 大阪に初のターミナルデパート 阪急百貨店開店 10・24 米、ウォール街株価大暴落、世界恐慌に発展 11・17 神明バス、営業開始
昭和5年 (1930)	3・31 日本電力から受電開始 7・1 バス事業の経営免許（路線長、46.25km） 9・16 市営バス営業開始 事業規模概要 路線須磨－桜口（15.1km）、車両12人乗り24両、車庫・工場及び詰所1（東尻池）、運賃区間制（普通区1区10銭） 10・11 市バス須磨－上筒井、川上町－上筒井、名倉町－上筒井、離宮町－多井畑が開通 11・7 市バス名倉町－桜口、石井橋－桜口が開通、免許路線全通 11・10 大口需用家変電施設として川崎変電所を設置 11・21 有馬道変電所を新築強化し、旧変電所を廃止	1・11 金輸出解禁 2・1 名古屋市バス、営業開始 7・1 国鉄、神戸市内高架線第1期工事竣工 10・1 東京－神戸間に特急つばめ号運転 11・14 浜口首相、東京駅で狙撃される
昭和6年 (1931)	4・2 日本電力から市内送電設備を買収 4・30 市バス東尻池車庫を増設 6・20 大口需用家変電施設として三菱変電所を設置 8・8 三宮変電所廃止 9・30 市電春日野車庫完成、同車庫の新設で葺合車庫を廃止 10・10 市電と国鉄との高架切替工事完成	1・31 神明バス、神港タクシー（神戸バス）を合併 4・－ 改正電気事業法公布、政府の監督・統制強まる 4・1 「自動車交通事業法」公布 9・1 神戸市区制実施、灘・葺合・神戸・湊東・湊・湊西・林田・須磨の8区発足

年 号	事 項	内 外 事 情
	12・1 市バス料金を普通区10銭とし、均一制に、あわせて市電・市バスの相互自由連絡制度を実施（市電→市バス4銭、市バス→市電無料） 市電の特別割引往復制度廃止 12・13 市電春日野乗務員詰所完成	9・18 満州事変勃発、日中関係悪化 9・20 六甲ロープウェイ開通 12・13 金輸出禁止
昭和7年 (1932)	7・20 観光バス事業を出願 7・31 第2期発電拡張計画をさらに3年繰り延べ（昭和9年度完成予定に） 10・11 市電須磨乗務員詰所完成 12・1 市バス、中之島－兵庫突堤運行開始	1・28 上海事変勃発 3・1 満州国建国 3・10 六甲ケーブル開通 4・1 京都市にわが国初のトロリーバス 5・15 5・15事件、犬養首相暗殺される 9・15 日本政府、満州国を承認 12・1 国鉄、片町線（片町－四条畷）で関西初の電車運転を開始
昭和8年 (1933)	1・1 市電税関線（第3期6号線）単線開通 市バス、布引町3－生田町1 運行開始 3・11 市バス、神戸駅－松原通4 運行開始 3・28 大口需用家変電施設として神戸製鋼変電所を設置 4・1 市電の車体をグリーンに統一 4・22 市電須磨車庫完成、同車庫の新設で和田、西柳原、兵庫の3車庫を廃止 9・21 市電東部国道線（3期5号線）の一部（敏馬－脇浜3丁目）開通 10・1 共済組合に診療所を創設 11・11 六甲山乗合自動車株式会社及び六甲越有馬鉄道株式会社バスの事業を神戸市が買収 11・7 市バス、桜口－石屋川運行開始 12・31 市バス、灘車庫・工場・詰所完成	1・1 神戸市、行政区画変更及び区名改称を実施（湊西区を兵庫区に） 1・30 独、ヒトラー内閣成立 3・27 日本、国際連盟を脱退 5・20 大阪市営地下鉄、梅田－心斎橋間開通 6・6 宇治川電気から電鉄部分離し、山陽電気鉄道発足 6・17 阪神電鉄、岩屋－三宮間の地下線開通 10・1 「自動車交通事業法」施行（乗合自動車事業は公益事業として法律に基づく免許事業となる） 11・7 第1回みなとの祭開催（2日間）
昭和9年 (1934)	1・1 市バス、長田8－檜川（大日温泉線）運行開始 3・1 市バス、川上町3－車大道（車村線）運行開始 6・28 市会に「火力発電所促進委員会」再度設置される 7・10 市会、政府に火力発電所建設の早期認可を要望 7・20 省線・市バス・六甲ケーブルの連絡運輸券を発売 8・5 摩耶鋼索鉄道（株）のバス事業を買収 9・7 市電税関線（3期6号線）複線開通 9・21 室戸台風襲来し、電柱44本倒壊するなど給電事業に被害 11・1 長田工場で流線型バスを自家製作 11・25 騒音除去のため、ゴム使用の市電弾性車輪を試作	7・20 国鉄、吹田－須磨間の電車（省線電車）の運行を開始、同年9月には明石まで延長 12・5 国鉄、神戸市内高架線第2期工事竣工 12・21 丹那トンネル完成 12・29 日本、ワシントン海軍軍備制限条約廃棄通告

年 号	事 項	内 外 事 情
昭和10年 (1935)	1・1 市電東部国道線（3期5号線）全通、同線の完成で、 栄町本線のうち、滝道－春日野間（磯上線）を休止 1・20 市電女子車掌を採用 1・28 阪神電鉄に灘区電気事業買収を打診 2・5 第2期発電拡張計画を三度3年繰り延べ（昭和元年度～昭和12年度の継続事業に） 2・24 元湊川変電所施設を利用し、菅原変電所を増設 4・1 阪神電鉄との灘区電気事業買収交渉成立 6・24 「乗務員詰所」を「運輸事務所」と改称 9・10 市バス、湊川町6－熊野神社前運行開始 12・24 市電磯上線（滝道－春日野）撤去 12・25 市電ロマンス・カーの運転を開始	3・16 ドイツ、再軍備宣言 5・2 再度山ドライブウェイ完成 7・2 再度山公園開園 10・3 イタリア・エチオピア戦争勃発
昭和11年 (1936)	2・1 市バス、徳井大和町－日尾町2、八幡町3－篠原南 町運行開始 5・23 市会、政府に火力発電所建設の早期認可を再度要望 6・1 阪急三宮乗入れに伴い、琴緒町変電所を廃止し、旭 変電所を新設 7・1 阪神電鉄より灘区電気供給権及び施設を買収 7・17 観光バス事業免許 8・22 大口需用家変電施設として大丸変電設備所を設置 9・1 市電スピードアップ最高時速35キロに 10・11 市内観光バス運行開始（61.18km、所要時間6時間半） 12・1 市バス、籠池通3－青谷町4運行開始 12・19 大口需用家変電施設として川崎車両変電所を設置、 あわせて川崎車両第1開閉所及び第2開閉所を設置 12・20 市バス灘車庫を拡張（収容車両数80両から132両に）	1・15 日本、ロンドン軍縮会議脱退 2・26 2.26事件起こる 3・18 阪神電鉄、元町乗入れを開始 4・1 阪急電鉄、三宮乗入れを開始 6・ 通信省、電力国家管理案（「頼 母木案」）発表 7・18 スペイン内乱勃発
昭和12年 (1937)	1・28 市電須磨線（3期1号線）を延長（須磨浦通4丁目 －同通5丁目） 3・1 市電海岸線（4期1号線）、宇治川線（同2号線）、 鯉川線（同3号線）敷設特許 4・1 市電板宿線（3期3号線）、大橋9丁目－板宿間開 通 6・11 市会に再度「火力発電促進委員会」設置される 7・4 市バス、中山手通3－修法ヶ原（再度登山線）運行 開始 8・30 市バス、敏馬－三宮駅前（東部国道線）運行開始 12・23 貸切バス事業開始	7・7 日華事変勃発（蘆溝橋事件） 10・10 国鉄、京都－吹田電化工事竣工 し、京都－明石電車直通運転開 始、神戸－大阪間複々線も開通 11・9 日独伊防共協定調印 12・17 政府、電力国家管理（「永井案」） 決定

年 号	事 項	内 外 事 情
昭和13年 (1938)	1・10 市電普通往復券制度を廃止、市バス通学回数券を新設、あわせてバス乗換え度数制限を撤廃	4・6 電力管理法、日本発送電株式会社法、社債処理に関する法律、電気事業法中改正法公布
	4・1 市内観光バスに第2観光コースを追加(36.26km、所要時間4時間)	5・1 重要産業統制令改正実施、ガソリン切符制となる
	4・19 休止中の葺合、運河両発電所を廃止	5・5 国家総動員法施行
	5・1 市バス、篠原本町ー篠原中町運行開始 ガソリン消費規制により、市バス路線の一部運行休止	5・15 航空機滞空時間の世界新記録樹立
	5・17 市電長田車庫を工場に統合	7・ー 鉄鋼、銅等の使用制限並びに金属その他の廃品回収始まる
	5・20 バス代燃車運転開始	8・17 ヒトラー来日
	7・5 阪神大水害発生、市電、市バス運転不能 神戸市の被害、死者616人、負傷者1,011人、家屋全壊5,961戸、半壊1万6,692戸、浸水11万8,091戸、被害総額1億4,399万円	9・14 ゼロ戦の試作機完成
	7・13 不通の市電三宮町1丁目ー栄町3丁目折り返し運転を開始	10・1 石炭配給統制規則施行
	7・16 市電栄町線開通(92%復旧)	
	7・26 市電栄町線ー東部国道線連絡運転開始(94%復旧)	
	8・5 市電山手線との連絡運転開始(96%復旧)	
	8・11 湊川発電所に出資命令	
	9・1 宇治川電気より鐘紡兵庫工場に対する電気供給事業及び施設(変電所その他)を買収	
	9・2 市電残部不通区間復旧、初発より全線開通	
	12・15 市バス、多間通2ー阪急西灘駅前、諏訪山下ー中突堤運行開始	
	昭和14年 (1939)	2・15 第2期発電拡張を断念
3・27 大水害による市バス路線、再度登山線を除き復旧		4・12 米穀配給統制法公布
4・1 国策会社へ湊川発電所を出資 水害で運休していた市内観光バスを再開		5・11 日ソ両軍ノモンハンで衝突
12・6 市電石屋川線(4期4号線)敷設特許		7・7 国民徴用令公布
		9・1 ドイツ軍、ポーランドに侵入し、第2次世界大戦勃発
	10・1 神戸市の人口100万突破(国勢調査)	
	10・18 電力調整令公布	
昭和15年 (1940)	5・11 市電長田車両工場で市バスの修理を実施	2・1 陸運統制令公布
	9・14 県警、観光バスの一般乗合への転用を要請	4・24 米、みそ、しょう油、塩、マッチ、木炭、砂糖など10品目に切符制採用
	10・1 市内観光バス、運転休止	8・1 トラック、バス等配給制に

年 号	事 項		内 外 事 情	
			9・27	政府、第2次電力国策要綱（配電統制）決定 日独伊3国同盟締結
			10・12	大政翼賛会発足
			11・23	大日本産業報国会創立
昭和16年 (1941)	1・16	市電石屋川線（4期4号線）の一部（上筒井－原田） 開通	3・20	改定国家総動員法施行
	1・20	市会に「配電統制対策委員会」設置される	3・31	生活必需品物資統制令公布
	2・1	市電急行運転を実施（平日のラッシュ時）	4・1	6大都市に米穀通帳制実施
	4・1	共済組合診療所を電気局病院と改称	4・10	政府、「電力国策実施要綱」発表、 配電統制具体化
	6・26	市会、政府に「配電統合ニ関スル意見書」提出	6・28	トラック・バス販売許可制に
	9・1	ガソリン供給停止のため、市バス路線中市電との並 行・重複路線を休止	7・1	垂水町、神戸市（須磨区）に編 入
	9・5	満州・新京交通へ市電400型3両を供出	8・30	「配電統制令」公布
	9・6	逓信大臣、神戸市など全国74電気事業者に配電会社 設立命令	9・1	ガソリン使用禁止
			12・8	太平洋戦争勃発
昭和17年 (1942)	4・1	配電事業を出資、関西配電株式会社発足	4・18	米軍機、本土初空襲（東京、名 古屋、神戸など）
	5・19	局名を神戸市交通局に改称	6・5	ミッドウェイ海戦
	7・14	鉄道大臣に神明バス買収調停を要請	10・-	戦時陸運の非常時体制確立に関 する件公布
	7・27	神明バス買収の協議成立	10・14	重要物資強制買上実施
	8・31	市バス上筒井駐車場事務所竣工	11・15	国鉄、京都－神戸間急行電車の 運転休止
	9・21	市電急行運転終日に		
昭和18年 (1943)	1・13	神明バス事業譲渡許可	1・16	電力消費規正強化
	1・17	神明バス買収（路線須磨以東33.31km、車両110両）	2・15	関門海底トンネル開通
	3・31	市電停留場のほとんどに乗降場を設置	7・1	東京都制実施
	6・16	市電料金を10銭に改定、あわせて定期券を新設。ま た市バスも全線均一制（10銭）に改定	10・21	学生の徴兵延期停止
	7・29	市電車内片側座席を撤去	12・1	学徒出陣始まる
	12・1	長田工場、国家管理を受け、鉄道局指定管理工場に		
昭和19年 (1944)	4・1	学徒勤労報国隊・勤労協力隊・女子挺身隊の受け入 れ、女子車掌の運転手への変更、一般職員の乗務な どを順次実施 男女別乗車、シリーズ運転を実施 荷物電車の運転を開始	2・11	金属回収のため摩耶ケーブル撤 去、六甲ケーブルも営業休止
			6・15	学童疎開始まる
			6・16	B29、本土初空襲
			7・7	サイパン島守備隊全滅
	6・1	市電石屋川線（4期4号線）の一部（原田－將軍通） 開通	10・24	レイテ海戦で連合艦隊が事実上 消滅し、制海権失う
			11・24	B29、80機が東京を大空襲

年 号	事 項	内 外 事 情
	8・5 市バス大修理を再び灘車庫で実施、あわせて市所有の一般自動車の整備も 8・15 市電（野菜運搬専用車）の阪神国道線乗入れ許可 10・7 市電架線の単線化実施 11・1 回数券の車内発売を停止、あわせて乗換券様式の簡略化を実施 防空活動上、三宮駅前を除く市電乗降場を撤去 観光バス事業免許を返還	
昭和20年 (1945)	3・10 運輸部門を大開小学校（兵庫区）へ疎開移転 3・17 大空襲で教習所・長田工場・市電23両焼失、全線終日運休、市内の3分の1が被災 5・6 運輸・技術両部門及び教習所を池田小学校（長田区）へ疎開移転 6・5 大空襲で布引運輸事務所・車庫、春日野運輸事務所、須磨車庫焼失、市電98両も全焼、全線マヒ状態に 7・12 湊町変電所の電動発電機1台を供出 8・2 市電東部国道線復旧 8・15 終戦、事業復旧を開始 8・31 G.H.Q.、市バス東尻池工場・車庫を接収 奥摩耶周辺山域100万坪を買収 9・13 本局庁舎を橋通1丁目（旧：市庁舎）へ移転 9・14 市電加納町3丁目－原田復旧 9・30 市電、ほぼ全線復旧 布引・灘両運輸事務所を復旧の春日野運輸事務所に臨時統合し東部運輸事務所と改称 10・1 市電、市バスの乗換え制度を廃止し、乗り切り制を実施	2・4 B29、約100機神戸市爆撃 3・6 国民勤労動員令公布 3・17 B29、60機神戸を無差別爆撃、死者2,598人、負傷者8,558人、被害者23万人、神戸市の西半分焦土と化す 4・1 米軍沖繩上陸 5・1 神戸市、戦災措置・戦時行政強化のため8区を6区に再編成、神戸区→生田区、林田区→長田区、湊東・湊両区は廃止 5・7 ドイツ無条件降伏 6・5 B29、約350機神戸を爆撃、死者3,184人、負傷者5,824人、神戸市の東半部分を焼失 8・6 広島に原子爆弾投下、9日には長崎にも 8・14 ポツダム宣言受諾、日本無条件降伏・第2次世界大戦終わる 8・28 連合国軍日本本土に進駐 9・9 神戸市本庁舎、兵庫区松本通へ 9・29 戦時諸法令廃止 10・11 G.H.Q.、民主化5大改革を指令 11・1 神戸市復興本部発足 12・9 G.H.Q.、農地改革を指令
昭和21年 (1946)	1・31 市電完全整備車100両を確保 4・1 神戸市交通局病院を職員厚生病院と改称 市電・市バス料金を30銭に改定、あわせて市電定期券の種別を通学・普通・全線に改正 6・6 市電長田車両工場事務所・倉庫復旧 9・17 松原軌道現業所・営繕現業所復旧 12・15 市バス北町車庫新設、仮車両置場（正慶町）を廃止	2・17 金融緊急措置令、新円発行・旧円預金封鎖 4・10 戦後初の総選挙（婦人参政） 4・26 神戸市復興委員会、「神戸高速鉄道建設計画要綱」策定 5・1 メーカー11年ぶりに復活 5・3 極東軍事裁判開かれる 8・12 経済安定本部・物価庁発足

年 号	事 項	内 外 事 情
		11・1 垂水区発足、市内7区に 11・3 日本国憲法公布
昭和22年 (1947)	2・21 市電料金40銭、市バス料金50銭に改定 6・20 市電・市バス料金を1円に改定 7・1 市バス、箕谷-衝原、大久保-広野新開運行開始あ わせて神出修繕場を新設 8・12 市バス灘運輸事務所復活、市バス松原運輸事務所・ 車庫・工場を新設し、北町車庫廃止 9・1 市電料金を2円に、市バス料金を1区2円の区間制 に改正 9・23 市バス、明石駅前-福谷運行開始 9・26 市バス、明石駅前-太山寺運行開始、あわせて明石 修繕場を設置 11・17 米駐留軍からの払い下げガソリン車30両(ダッジ・ ブラザーズ)をバスに改造して運転を開始	3・1 西北の10か町村を神戸市に編入 (有馬町・有野村・山田村・玉 津村・伊川谷村・栢谷村・押部 谷村・平野村・神出村・岩岡村) 4・1 6・3・3制教育実施 4・5 初の首長公選で神戸市長に小寺 謙吉 4・17 地方自治法公布(5月3日施行) 12・31 内務省解体
昭和23年 (1948)	1・- 白浜・臥牛山荘開設 1・4 市バス山田修繕場設置 3・1 市電布引運輸事務所・車庫復旧、東部運輸事務所の 臨時統合解除、あわせて市電東尻池運輸事務所を須 磨運輸事務所出張所に変更 市電完全整備車150両に 5・5 市バス、平野-夢野町2丁目運行開始 5・21 市電・市バス1区料金3円50銭に改定 6・30 国産大型ディーゼルバスを初採用 8・1 運行税復活、市電料金6円、市バス料金1区6円、 2区10円(いずれも通行税共)に、また市電定期券 種別も通勤(甲・乙)、普通、全線に 11・25 神姫バスと運輸協定締結(明石駅前-太山寺、明石 駅前-福谷) 12・25 外人専用貸切バス免許	2・22 日本発送電・9配電会社、集排 法指定 3・7 自治体警察発足 7・20 経済安定10原則発表、デフレへ の転機となる 11・12 極東軍事裁判判決
昭和24年 (1949)	1・1 神戸市交通局共済組合発足(厚生会解消) 2・1 市バス、大久保-明石駅前運行開始 4・27 市電石屋川線(4期4号線)残部敷設工事再開 4・30 国、私鉄との連絡運輸制度を復活 5・31 外人専用貸切バスを一般貸切に変更 6・1 市電長田車両工場で750型ボギー車の自家製作を開始 6・2 市電料金を8円、市バス料金を1区10円(いずれも 通行税共)に改定、あわせて市バスにも定期券制度 を新設	1・23 1ドル360円の単一為替レート 実施 3・7 ドッジ米行使、日本経済安定策 (ドッジライン)を勧告 4・30 神有三木電気鉄道、神戸電気鉄 道と改称 5・- G.H.Q、集中排除審査委員会、 電力7ブロック案を提示

年 号	事 項	内 外 事 情
	6・5 特定バス事業免許 6・22 広告業務の直営取扱い開始 7・16 市電布引線の移設（加納町2丁目－布引）工事完了 7・25 市電石屋川線（4期4号線）の一部（將軍通－六甲口）開通 9・1 市バス、平野－山本通5丁目、山本通4丁目－山本通5丁目運行開始 10・1 市電東尻池出張所を運輸事務所に復活 12・1 市電女子車掌の廃止決定	6・1 国鉄、公共企業体となり運輸省から分離 6・1 国鉄、京都－神戸間の急行電車復活 9・15 シャウブ税制改革勧告全文発表 9・21 中華人民共和国成立 10・28 G.H.Q、民間貿易許可 11・3 湯川秀樹、ノーベル物理学賞を受賞 11・－ 原口市政発足
昭和25年 (1950)	3・15 市バス、湊町4丁目－西出町、出在家町－梅ヶ香町2丁目運行開始 4・1 市バス、大黒町2丁目－菊池町2丁目運行開始 通行税廃止 4・17 進駐軍モータープールとして接収中の市バス東尻池車庫・工場解除 4・20 自家製作の750型ボギー車（3両）完成 5・8 本局新庁舎（橘通3丁目）完成 8・1 市バス東尻池車庫・工場再開、大修理はすべて同工場 市バス、阪神御影－神大附属小学校、甲南病院前運行開始 9・11 教習所（上橘通2丁目）完成	1・7 1,000円札発行 3・－ タイヤ、チューブ生産及び配給統制解除 3・15 神戸博（日本貿易産業博覧会）開会（6月25日まで王子・湊川両公園で） 4・－ タイヤの価格統制解除 4・1 御影町・魚崎町・住吉村を神戸市に編入、東灘区発足 魚、綿製品も自由販売に 6・25 朝鮮戦争勃発 7・1 公営交通事業協議会発足 8・10 警察予備隊発足 9・3 ジェーン台風、関西を襲う 9・20 神戸国際港都建設法制定 10・1 国鉄、神戸－東京間急行列車「銀河」運転開始 10・10 本山村・本庄村、神戸市（東灘区）に編入 11・24 政府、電力事業再編成をポツダム政令で公布 12・13 地方公務員法公布（昭和26年2月13日施行）
昭和26年 (1951)	3・12 都市計画による市電布引車庫の改修完了 3・31 市電集電器のビューゲル化完了 4・1 6大都市交通局でPCCカーの研究開始 6・1 市バス、明石車庫・修繕工場完成、これに伴い高津橋・岩岡臨時整備場を廃止 6・15 市電長田工場改修 11・3 市内定期観光バス復活（66km、所要時間6時間半）	4・2 500円札登場 5・1 電力再編成で9電力会社発足 7・1 道場村・八多村・大沢村、神戸市（兵庫区、現：北区）に編入 8・21 神戸放送局（現：ラジオ関西）開局 9・1 民間放送開始

年 号	事 項	内 外 事 情
	12・1 市電定期券の種別を通学（甲・乙・丙イ・丙ロ）、 通、全線に改正 12・20 荷物電車を廃止 12・21 市電料金を10円に、市バス利用金を普通区1区15円 に改定	9・4 サンフランシスコ講和会議 9・8 対日講和条約、日米安全保障条 約調印
昭和27年 (1952)	3・31 市バス御影操車場完成 4・1 市バス東灘線（阪神御影－本山駅前、阪神御影－森 市場前、浜御影－白鶴美術館前）運行開始 6・29 市バス、平野－六甲ケーブル山上駅運行開始 8・1 地方公営企業法公布（10月1日施行） 9・1 市電の新造で防振・防音のための防振ゴムを採用、 あわせて台車改良、一体鑄造、弾性車輪も採用 10・1 市バス、神戸駅－神鉄湊川駅運行開始 奥摩耶開発に着手 12・27 市バス、戸政町－月見山本町運行開始	1・18 韓国、李承晩ライン宣言 2・28 日米行政協定調印 4・28 G.H.Q廃止、日米安全保障条約 発効 7・1 全国住民登録制度実施 7・21 破壊活動防止法公布 10・15 警察予備隊を保安隊に改組
昭和28年 (1953)	1・10 軌道騒音軽減などのため、ゴム製タイヤッドを本格 使用 5・1 市バス、上岩岡－六十丁運行開始 5・31 市バス、夢野町2丁目－菊水町10丁目運行開始 6・1 奥摩耶ロープウェイの調査開始 6・5 市電料金を13円に改定、あわせて定期券の種別を通 学（甲・乙・丙）、通勤（甲・乙）、全線に改正 6・17 市電石屋川線（4期4号線）の残部工事に着手 7・6 市バス、摩耶口－奥摩耶運行開始 7・11 納涼観光バス運行開始 8・10 六甲変電所増設 10・1 市電石屋川線（4期4号線）六甲口－石屋川開通し 同線全通 12・1 板宿－三宮間急行バス運行開始 12・21 市バス、多井畑－神戸療養所運行開始 12・24 市バス、加納町6丁目－税関構内運行開始	2・1 NHK東京がテレビ放送開始 2・25 奄美大島、本土へ復帰 7・27 朝鮮休戦協定成立 8・7 スト規制法公布 8・28 初の民法テレビ（NTV）発足 12・7 神戸開港85周年記念式典を挙行
昭和29年 (1954)	1・25 市バス、山田3丁目－外大前運行開始 2・17 PCCカー試作車として1000型車を自家製作 4・1 市内定期観光バスを午前、午後の2コースに分割（1 コース、46km、所要時間3時間半、2コース、54km、 所要時間3時間半） 5・17 市バス、田井－太山寺小学校前運行開始 6・23 奥摩耶ロープウェイ敷設特許 7・1 市電路線巡視にパトロール・カー（3両）を採用 7・20 奥摩耶山荘完成	1・1 50銭以下の小銭廃止 3・1 ビキニ水爆実験で第5福竜丸被 災 4・1 国鉄新長田駅開駅 7・1 防衛庁・自衛隊発足 自治体警察廃止 9・26 台風により青函連絡船・洞爺丸 など沈没死者行方不明1,155人 に及ぶ

年 号	事 項	内 外 事 情
	9・14 市バス山田操車場・車庫完成 12・16 奥摩耶ロープウェイ建設着手 12・25 PCCモデルカーとして1150型高加減速無音電車を製作 12・27 板宿－石屋川間急行バス運行開始 市バス、高羽老松－王子町3丁目運行開始	
昭和30年 (1955)	2・1 市バス、徳井－中御影運行開始 7・－ 須磨水族館建設調査開始 7・11 奥摩耶ロープウェイ完成、開通式挙行（翌12日、営業開始） 9・5 市バス、衝原－下衝原運行開始 10・15 国鉄三ノ宮駅構内に観光バス案内所を設置 11・10 市バス、丸山－鷺橋・花山町2丁目運行開始	5・7 摩耶ケーブル運転再開 6・1 日ソ交渉、ロンドンで開始 7・20 経済企画庁発足 9・15 ウェスト・キャンプ接収解除 10・15 長尾村、神戸市（兵庫区、現：北区）に編入
昭和31年 (1956)	2・2 市電板宿、兵庫両終点到車両接近表示装置を設置 3・15 市内定期観光バスコース変更、あわせて途中停留所を設置 4・18 市バス、岡本野間－岡本釈迦田運行開始 8・7 須磨水族館建設着手 8・10 表六甲ドライブ・ウェイ開通、市バス運行開始 市電須磨車庫、区画整理のため改修	4・16 日本道路公団発足 5・1 六甲・摩耶山一円、瀬戸内海国立公園に編入 10・1 神戸市人口、再び100万台を突破 10・19 日ソ国交回復共同宣言、通商航海議定書に調印 10・23 ハンガリー動乱勃発 10・28 国民体育大会、神戸市で開催 11・19 東海道本線全線電化 12・10 イースト・キャンプ接収解除、市内の全キャンプ地解除 12・18 国連総会、日本の加盟を承認
昭和32年 (1957)	5・1 市バス、国玉通2丁目－篠原北町1丁目運行開始 5・2 市役所新庁舎完成し本局を生田区（現：中央区）加納町6丁目に移転 5・10 須磨水族館完成、営業開始 6・24 市内定期観光バス、乗合事業として免許 7・－ 芦山荘開設 9・4 市電石屋川運輸事務所・車庫完成、これに伴い市電布引運輸事務所・車庫を廃止	10・1 5,000円札発行 10・21 神戸市、シアトル市と姉妹都市提携 12・11 100円銀貨発行
昭和33年 (1958)	4・1 市バス、布引運輸事務所・車庫開設 4・24 市バス三宮操車場完成 5・11 市バス、療養所口（現：玉津病院口）－神戸市立玉津療養所（現：玉津病院）運行開始 11・1 三宮－上岩岡急行バス運行開始	1・31 米、人工衛星打ち上げに成功 2・1 淡河村・上淡河村、神戸市（兵庫区、現：北区）に編入 3・9 関門国道トンネル開通 4・1 売春防止法施行

年 号	事 項	内 外 事 情
	11・10 市バス、須磨駅前－下畑運行開始	5・17 テレビ契約100万台突破 10・2 神戸高速鉄道設立 11・1 ビジネス特急「こだま」運転開始 12・－ ダイエー三宮に進出 12・1 1万円札発行
昭和34年 (1959)	4・1 市電軌道敷内通行許可 市電女子車掌復活 4・5 市バス、鴨子ヶ原線（阪神御影－鴨子ヶ原）運行開始 5・1 市電和田変電所の無人化工事完了、湊町変電所の建替え、有馬道変電所の廃止も 6・24 空気バネ・冷房装置付きバス（観光用）が登場 7・1 六甲・摩耶回遊乗車券、六甲ケーブル・市バス連絡券発売開始 10・6 市バス明石操車場完成 11・30 市バス、山ろく線（三宮－五位ノ池）運行開始	2・8 黒部トンネル開通 9・26 伊勢湾台風で愛知・三重・岐阜の3県に空前の被害
昭和35年 (1960)	2・－ 照明付き市バス停留所標識を設置 4・－ Zパンダ式市電デビュー 7・23 市バス、舞子・多間線（舞子公園－ゴルフ場前）運行開始 8・8 三宮そごう前にバス停テント設置 8・20 市電大丸前軌道の移設完了 9・20 市バス松原運輸事務所（整備工場）改築 12・15 市バスワンマンカー（6両）運行開始	1・20 新日米安保条約行政協定調印 7・1 自治省発足（自治庁昇格） 9・10 カラーテレビ本放送を開始 12・8 市営競輪廃止
昭和36年 (1961)	1・6 市電特許休止・未成線（4期海岸線ほか）廃止許可 1・23 市バス舞子・大坪線（山陽舞子駅前－大坪）運行開始 4・8 市バス、車大道－白川運行開始 4・24 三宮駅前バスターミナル（新聞会館北側）新設 6・27 豪雨のため市電・市バスに被害 7・1 市電税関線の昼間・深夜運転を休止	3・－ 政府、物価抑制措置として電気・バス・私鉄料金の抑制を決定 4・12 ソ連、史上初の人間宇宙船ボストーク1号打ち上げ（乗員ガガーリン小佐） 7・2 神戸市、マルセイユ市と姉妹都市提携 8・13 東独政府、東西ベルリン境界封鎖、ベルリン危機高まる 9・16 第2室戸台風来襲 9・21 芦有道路開通

年 号	事 項	内 外 事 情
昭和37年 (1962)	5・1 市内定期観光バスのコースを変更(28.96km所要時間4時間) 市電千歳変電所を無人化し、湊町変電所から遠隔操作 7・1 市バス有馬線(三宮-有馬町)運行開始 7・15 市電料金を15円に改定、往復券を廃止	2・1 東京都の人口1,000万人突破 3・5 神戸高速鉄道起工式 3・20 北陸トンネル開通 5・1 阪神高速道路公団発足 5・3 国鉄三河島列車二重衝突、死者160人の大惨事に 10・22 米大統領「キューバ封鎖」を宣言 11・9 日中貿易覚書調印(LT貿易開始)
昭和38年 (1963)	5・10 市バス、阪神御影-六甲台運行開始 5・25 長田総合工場第1期工事(市電関係)完成 8・10 市バス舞子墓園線(山陽舞子駅前-舞子墓園前)運行開始 10・18 市バス鈴蘭台線(神戸駅-鈴蘭台)運行開始 11・4 市バス第2阪神国道線(税関前-阪神打出(芦屋市))運行開始 11・21 市バス第2阪神国道線を中突堤(ポートタワー下)まで延長 12・16 市電和田運輸事務所・車庫完成、これに伴い春日野運輸事務所、須磨運輸事務所東尻池出張所を廃止	1・- 池田首相「物価安定まで公共料金値上げせず」と言明 1・6 第2阪神国道(尼崎-神戸)開通 2・10 北九州市発足 3・31 芦有バス運行開始 6・16 ソ連、初の女性宇宙飛行士(テレシコワ)を乗せたポストーク6号を打ち上げ 10・- 神戸市相楽園会館オープン 11・20 神戸ポートタワー完成 11・22 ケネディ米大統領グラスで暗殺される
昭和39年 (1964)	1・14 大阪市交通局から市電中古車35両を購入 3・5 市バス松原運輸事務所にバス自動洗車機を設置 3・20 市バス松原運輸事務所玉津出張所・車庫完成、これに伴い明石操車場・車庫廃止 5・1 奥摩耶スカイランド開園 5・8 長田総合工場第2期工事(市バス関係)完成 7・20 市バス灘運輸事務所・車庫の改築工事完成 8・1 市内定期観光バスのコース変更、A、B、Cの3コースに 8・27 神戸市交通事業審議会を設置	1・16 埋立土砂運搬用の須磨ベルトコンベアー始動 1・17 政府、消費米米価・バス料金などの年内引き上げ停止を決定 1・22 六甲山人工スキー場オープン 6・- 地方公営企業制度調査会(自治大臣諮問機関)設置 9・5 名神高速道路全通 10・1 東海道新幹線営業開始 10・10 東京オリンピック開催(24日まで)
昭和40年 (1965)	1・4 市バス西舞子団地線(団地内循環、西舞子団地-山陽舞子駅前)運行開始 1・16 市バス料金を20円に改定(14年ぶり) 3・2 市電回数券裏面に広告採用 3・23 市電番町変電所の無人化工事完成 4・1 市バス須磨運輸事務所完成	1・24 チャーチル英首相死去 2・17 国鉄鷹取-西明石間複々線工事完成 3・18 新南極観測船「ふじ」進水

年 号	事 項	内 外 事 情
	8・8 神戸駅前バス発着場新設、これに伴い新開地操車場(三角公園) 廃止 11・20 市バス太山寺線(神戸駅南口-明石駅前) 運行開始	6・22 日韓基本条約調印 10・1 さんちかタウン、交通センタービルオープン 10・15 市立中央体育館オープン 10・21 朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞
昭和41年 (1966)	4・1 市バス玉津出張所、運輸事務所に 5・1 市電税関線(3期6号線) 廃止 7・27 高速鉄道建設調査のため「高速軌道等調査委員会」を設置 9・1 市電料金を20円に、市バス料金を1区25円、2区40円に改定 10・1 市バス丸山線を大日丘住宅前まで延長 10・17 市役所分庁舎(現:第2庁舎) 完成、本局を同庁舎に移転 12・20 市バス神明放射線(神戸駅南口-多聞) 運行開始	1・28 戦後初の赤字国債発行 2・4 全日空機東京湾に墜落、133人死亡 3・4 カナダ太平洋航空機羽田で着陸失敗、64人死亡 3・5 BOAC機富士山ろくに墜落、124人死亡 6・2 摩耶大橋開通 6・25 祝日法改正、「敬老の日」「体育の日」 7・5 地方公営企業法一部改正(管理者の地位強化ほか) 7・19 米衛星船ジェミニ10号打ち上げ、史上初の二重ドッキングに成功 8・8 中国文化大革命起こる
昭和42年 (1967)	1・10 市電六甲変電所無人化完成 4・1 市電・市バス料金箱制度を実施、これにより車内での乗車券販売を廃止 4・29 市バス、新長田-高尾台運行開始 5・15 市バス西舞子団地線(舞子駅前-西舞子団地) 延長 7・9 集中豪雨のため市電・市バスマヒ 8・1 阪急六甲操車場新装 9・5 神戸市交通事業審議会、市電廃止を答申 10・15 市バス六甲登山線、六甲最高峰-芦有宝殿橋ゲート間延長 10・21 市会、市電廃止を骨子とした「交通事業財政再建計画案」議決	2・10 初の建国記念日 3・25 六甲トンネル開通 5・1 須磨離宮公園開園 10・1 わが国の人口1億を越す、1億24万3,000人(総理府統計局調べ) 10・20 吉田茂元首相死去 10・24 三宮地下駐車場完成
昭和43年 (1968)	1・1 市電・市バス料金改定、市電25円、市バス1区30円、2区50円に 1・20 市電・市バス3か月定期券の発売を4半期ごとから毎月発売に改正 3・22 市バス魚崎運輸事務所を新設 4・1 厚生病院及び水族館を市長部局に移管 4・14 市電ワンマン運転実施 4・18 市電廃止に伴い代替バス路線を新設	4・7 神戸高速鉄道営業開始 5・16 東北・北海道マグニチュード7.8の大地震(十勝沖地震) 6・5 ロバート・ケネディ暗殺される 6・20 国鉄朝霧駅開駅 6・26 小笠原諸島返還、本土復帰 7・- 郵便番号制、交通反則通告制スタート

年 号	事 項	内 外 事 情
	<p>4・21 市電路線の一部を廃止 湊川神社－新開地－兵庫駅前（栄町・羽坂延長線）、 有馬道－平野（平野線）、湊川公園－新開地（湊 川線）、須磨駅前－衣掛町（須磨線）、三宮駅前－ 脇浜（東部国道線） 以上7km</p> <p>5・1 高速鉄道建設のため調査室を設置、これにより高速 軌道等調査委員会を廃止</p> <p>5・19 国鉄舞子駅前バスターミナル完成</p> <p>6・20 市バス明舞団地線（舞子駅前－朝霧駅前）運行開始</p> <p>6・24 神戸市交通事業審議会、高速鉄道網（海岸線、山手線、 西神線、東部線）を答申</p> <p>8・19 市バス、神戸療養所（現：神戸病院前）－北須磨団 地運行開始</p> <p>10・11 市電、営業時間を始終発共30分ずつ短縮（5時30分 ～23時30分に）</p> <p>11・1 市バス六甲トンネル線（三宮駅前－有馬町）唐櫃団 地線（三宮駅前－唐櫃団地）運行開始 奥摩耶山荘営業休止</p>	<p>8・20 ソ連・東欧軍、チェコへ軍事介 入</p> <p>9・1 メトロ神戸オープン</p> <p>10・9 ポートアイランド起工式</p> <p>10・17 川端康成、ノーベル文学賞受賞</p> <p>10・23 明治百年記念式典挙行</p> <p>12・10 東京府中で現金輸送車襲われ 3億円強奪される</p>
昭和44年 (1969)	<p>2・－ 市バスワンマン専用車（39両）を購入</p> <p>3・23 市電路線の一部を廃止 上筒井1丁目－石屋川（石屋川線） 東尻池2丁目－中之島（松原線） 加納町3丁目－上筒井1丁目（布引線） 以上7km</p> <p>4・23 市電石屋川運輸事務所を廃止し、市バス運輸事務所 に</p> <p>5・18 市バス京橋操車場を新設</p> <p>11・17 都市交通審議会（運輸大臣・諮問機関）、市内高速 鉄道網等を答申</p>	<p>3・31 大阪市電全廃</p> <p>5・26 東名高速道路全通</p> <p>6・12 わが国初の原子力船「むつ」進 水</p> <p>7・20 米「アポロ11号」、人類初の月 面着陸</p> <p>8・17 大学運営臨時措置法（大学立法） 施行</p> <p>8・23 西神戸有料道路開通</p> <p>10・20 貿易センタービル完成</p> <p>10・25 総合福祉センターが元神戸市交 通局舎跡に完成</p> <p>11・8 東部卸売市場オープン</p> <p>11・20 宮崎市政発足</p> <p>12・14 阪神国道電車、西灘－東神戸間 を廃止</p>
昭和45年 (1970)	<p>3・15 市電路線の一部を廃止 加納町3丁目－三宮阪神前（布引線） 加納町3丁目－五番町（山手・上沢線） 大倉山－湊川神社東門（楠公東門線） 本庄町－東尻池2（須磨線） 以上9.4km、これに伴い市電須磨運輸事務所を廃止</p>	<p>1・22 ジャンボ・ジェット旅客機就航</p> <p>2・23 阪神高速道路神戸－西宮線全通</p> <p>3・8 第2神明道路開通</p> <p>3・15 日本万国博覧会、千里丘陵で開 幕</p>

年 号	事 項	内 外 事 情
	3・28 市会、全線36kmにわたる「神戸市高速鉄道の建設及び経営に関する件」を議決 4・ 7 高速鉄道建設部発足、これにより調査室を廃止 5・18 地方鉄道事業免許（名谷－布引、13.6km）を申請 8・23 市バス東部路線の再編成を実施 9・10 市バス有野団地線（有馬口－有野団地）運行開始 10・15 最後の花電車を運行（18日まで） 11・ 1 市内定期観光バスのコースを一部変更 12・21 市バスに自動つり銭機を採用	3・31 八幡・富士両製鉄所の合併で新日本製鉄誕生 日航機「よど号」ハイジャック 4・ 1 国民宿舎「神戸摩耶ロッジ」オープン 4・10 神戸大橋、ポートターミナル完成 5・27 市民の花にあじさいを選定 6・22 日米安保条約自動延長 7・27 六甲有馬ロープウェー営業開始 9・10 東神戸フェリーセンター完成 12・18 公害対策基本法改正など公害関係14法案成立
昭和46年 (1971)	2・17 市バス須磨運輸事務所・車庫完成 3・13 市電路線を全廃、これに伴い和田運輸事務所を廃止 4・22 神戸市交通事業審議会、バスに関する開発者負担を答申 6・21 市バス、車大道－白川台運行開始 7・ 7 買物バス（鈴蘭台団地・鶴甲団地－元町商店街）を運転 8・16 市バス有野操車場を新設、これにより山田操車場を廃止 10・15 地方鉄道事業（名谷－布引、13.6km）免許	3・30 ビーナス・ブリッジ（諏訪山金星台）完成 4・21 神戸市道路公社発足 5・15 第1回神戸まつり開催 7・ 1 環境庁発足 7・30 全日空機と自衛隊機が岩手県上空で空中接触162人死亡、世界最大の航空事故 8・15 ニクソン米大統領、ドル防衛など新経済政策発表（ドル・ショック） 8・28 円対ドルレート変動相場制に移行 10・25 中国の国連代表権回復
昭和47年 (1972)	2・18 高速鉄道、西神線（名谷－新長田）第1次分割施行を申請 3・15 新幹線開通に伴い、市バス、新神戸駅－三宮駅運行開始 3・18 平家物語史跡めぐりバスを運転（9月30日まで毎週土曜日） 5・18 高速鉄道、西神線道路下敷設を申請 6・ 1 バス優先レーン（7路線8区間）指定 7・28 高速鉄道、西神線第2次分割施行を申請 8・ 1 市バス料金改定、普通区50円均一制に（48年3月31日までは1区40円、2区50円） 9・16 高速鉄道、西神線道路下敷路許可 9・18 高速鉄道、西神線道路下敷路工事施行を申請	2・ 3 冬期オリンピック札幌大会開会 3・15 山陽新幹線（新大阪－岡山）開通 5・15 沖縄返還、本土復帰 6・11 田中角栄通産相「日本列島改造論」発表 7・31 神戸市「人間環境都市」宣言 9・29 日中国交樹立 11・ 2 西神ニュータウン起工 12・－ 六甲アイランド造成着工

年 号	事 項	内 外 事 情
	9・21 神戸市交通事業審議会、高速鉄道に関する開発者負担を答申 9・26 高速鉄道、名谷－新長田間都市計画決定 10・20 高速鉄道建設部に建設事務所を設置 11・ 7 高速鉄道、西神線第1次分割施行認可 11・10 高速鉄道、西神線道路下敷設工事施行認可 11・25 高速鉄道起工式（名谷－新長田、5.8km） 市バスに善意の席「オレンジ・シート」を設置 12・ 4 市バス路線再編成（市電代行路線の統合・整理）、あわせて区民バスを運行	
昭和48年 (1973)	1・22 市バス松原運輸事務所和田出張所開所 2・25 市バス乗降方式を後乗り前降りに変更 3・23 低床バスを採用 4・ 1 市バスこども病院前－高倉台運行開始 4・ 2 バス専用レーン（1.65km）を設置、県下初 7・26 高速鉄道、西神線第2次分割施行認可 8・ 1 「地方公営交通事業の経営の健全化の促進に関する法律」施行 8・17 市バス高倉操車場を新設 9・15 市バス敬老優待乗車証を発行	6・24 神戸市、中国・天津市と友好都市提携 7・25 資源エネルギー庁発足、資源問題一元化 8・ 1 北区発足 9・16 神戸文化ホールオープン 10・ 1 神戸銀行、太陽銀行と合併、太陽神戸銀行発足 10・ 6 第4次中東戦争勃発 10・17 OPEC石油相会議で石油生産削減決定 10・20 サウジアラビアなど中東6か国イスラエル支援国に石油輸出停止を決定 10・23 江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞 11・－ 各地で洗剤・紙などの買いだめ殺到 11・16 政府、石油緊急対策要綱決定 12・22 政府、石油緊急事態告示
昭和49年 (1974)	2・23 奥摩耶ロープウェイ、ゴンドラ新造 3・ 6 市会、交通事業再建計画の件（新再建）議決 3・12 自治大臣、新再建計画を承認、新再建スタート 3・31 市バス松原運輸事務所・車庫を改築 8・24 市バス新多間線（国鉄舞子駅前－舞子高校前）運行開始 10・ 2 神戸駅前バスターミナル完成	3・17 阪神国道電車、西灘－上甲子園間を廃止 5・ 1 建設省、全国土地価格公示、地価上昇率年32.4%で史上最高 5・31 「神戸市民のくらしをまもる条例」制定 6・18 神戸市、ソ連リガ市と姉妹都市提携 6・26 国土庁発足 10・ 1 「サンこうべ」オープン

年 号	事 項	内 外 事 情
		11・18 フォード米大統領来日 11・25 田中首相、総理総辞任を表明
昭和50年 (1975)	2・15 高速鉄道、西神線落合トンネル貫通 4・1 営業部を自動車部、高速鉄道建設部を高速鉄道部と改称 市バスひよどり台線（神戸駅前－ひよどり台）運行開始 市バス北須磨団地－名谷運行開始 市バス相談所を設置 5・15 神戸まつりに花バス5両を運転（18日まで） 5・24 高速鉄道、西神線横尾トンネル貫通 6・1 市バスに大型方向幕を取付け 6・28 高速鉄道、西神線板宿シールド到達 9・29 市電時代の名残り、電気時計撤去 10・1 市バス料金（普通区）を90円に改定（51年3月31日までは暫定で70円）	2・12 地方財政20年ぶりの危機、赤字4都府県、寸前7府県 3・10 山陽新幹線（岡山－博多）開通 4・30 南ベトナム・サイゴン政権無条件降伏、インドシナ戦争に終止符 7・19 沖縄国際海洋博開幕 7・26 センタープラザオープン
昭和51年 (1976)	2・1 市バス料金自動精算システムを導入 2・28 市バス垂水運輸事務所を新設、これにより玉津運輸事務所を玉津操車場と改称 4・8 高速鉄道、西神線レール締結 5・1 市バス岩岡線（大久保－上岩岡）運行開始 5・16 市バス新神戸トンネル線（三宮駅前－箕谷駅）運行開始 8・1 かもめバス運行開始 8・3 高速鉄道、名谷業務ビル・総合事務所開所 8・6 高速鉄道、西神線全線試運転開始 10・6 市会、「バス事案再建に関する特別委員会」設置 12・21 高速鉄道、山手線（新長田－布引）第1次分割施行申請 12・23 高速鉄道、山手線道路下敷設申請	1・30 摩耶山天上寺炎上 4・1 「自動車公害防止条例」制定 4・17 須磨海づり公園オープン 5・15 新神戸トンネル開通 7・4 米国200回独立記念日、建国200年祭 7・27 東京地検、田中前首相を逮捕 10・26 国鉄六甲道高架完成
昭和52年 (1977)	2・18 高速鉄道、開業保安監査終わる 3・3 高速鉄道、運輸開始認可 3・12 高速鉄道、4駅の開駅式に引続き名谷駅で開業式典を挙行 3・13 高速鉄道西神線（市営地下鉄）名谷－新長田、5.7km営業開始 3・15 高速鉄道、新長田－布引都市計画決定 6・8 高速鉄道、山手線第2次分割工事施行申請 6・13 高速鉄道、山手線道路下敷設許可 6・16 高速鉄道、山手線道路下敷設工事施行申請	3・1 米ソ両国、200カイリ漁業専管水域実施 5・2 海洋2法案（200カイリ漁業水域法、領海法）成立 6・17 神戸市ロンドン事務所開設 7・5 神戸新交通株式会社発足 11・4 人口の地方定住を基本目的とする第3次全国総合開発計画（3全総）スタート

年 号	事 項	内 外 事 情
	7・1 市バス路線再編成、64系統を54系統に統廃合 奥摩耶ロープウェーを都市整備公社に移管 8・3 高速鉄道、山手線第1次分割施行認可 9・16 高速鉄道、山手線道路下敷設工事施行認可 10・10 新長田地下鉄ビルオープン 12・17 風見鶏バスを運行（53年6月30日まで）	
昭和53年 (1978)	2・13 高速鉄道山手線工事安全祈願祭を挙行 3・13 市バス三宮操車場を新設、これにより三宮・雲井両 操車場を廃止 4・3 路線バスに冷房車を導入 4・14 本局を市役所第3庁舎に移転 6・1 市バス料金（普通区）を110円（11月30日）に改定、 あわせて昼間割引定期券（グリーン・カード）も発 行 高速鉄道車両工場完成 7・15 地下鉄1000形車両にローレル賞 8・26 市バス新・魚崎事務所完成 11・1 市内定期観光バスコース変更、異人館・ポートアイ ランドめぐりも、またガイドのユニホームもニュー モードに	1・14 伊豆大島近海地震（M7）発生 4・27 六甲道駅前広場完成 5・20 成田新国際空港開港 5・26 新交通ポートアイランド線着工 6・1 日影条例施行 6・23 神戸天津友好都市提携5周年 7・25 英国で試験管ペビー誕生 7・27 文化ホール入場300万人突破 9・30 京都市電全廃 10・3 都市景観条例制定 10・10 王子総合スポーツセンターオー プン
昭和54年 (1979)	3・1 徳島市交通局と観光業務提携 6・1 共助組合「須磨浦荘」オープン、これにより「和楽 山荘」を廃止 8・1 高速鉄道部第2建設事務所を設置 8・4 北神急行と相互乗入れ調印 11・9 交通事業審議会「神戸市高速鉄道事業の安定化方策」 を答申	1・1 米中国交樹立 1・13 国公立大学、初の共通1次入試 実施 1・23 神戸ポートアイランド博覧会協 会発足 4・28 須磨離宮植物園オープン 5・3 ポートアイランド球技場完成 5・4 英国サッチャー女史、初の女性 首相に就任 6・21 市政90周年記念式典挙行 6・28 東京で先進国首脳会議開催 9・28 須磨ニュータウン駅前広場と名 谷センタービル完成 10・16 市議会、委員会傍聴制度を実施
昭和55年 (1980)	2・26 第2建設事務所を加納町2丁目へ移転 3・26 市バス石屋川事務所・車庫建替え工事完成 3・29 市バスポートアイランド線（三宮駅前－ポートアイ ランド）運行開始（56年2月4日まで） 4・5 地下鉄料金改定、1区100円・2区120円に、あわせ てバス・地下鉄連絡定期券を新設	2・4 六甲アイランド使用開始 3・15 須磨パティオオープン 4・1 広島市政令指定都市に 4・24 勤労会館・青少年会館・三宮図 書館オープン 8・1 「神戸国際交流協会」発足

年 号	事 項	内 外 事 情
	5・1 市バス舞子高校前一学が丘運行開始 5・21 2階バス運行開始（市内観光） 7・10 「ポートアイランド博覧会バス輸送対策本部」設置 8・14 交通事業審議会「神戸市バス事業の当面の財政運営のあり方」について答申 9・16 市バス創業50周年 11・26 地下鉄車両8両（2編成）増強 12・13 高速鉄道西神線延伸（名谷－西神ニュータウン9.3km）を申請	8・16 静岡駅前地下街でガス爆発事故発生 8・26 中国・天津港と友好港提携 10・11 新・中央図書館オープン 12・1 葺合・生田両区の合区で中央区発足
昭和56年 (1981)	2・1 市バス料金を140円に改定（57年1月までは暫定で130円）、あわせて全線定期券（あじさいカード）、昼間割引回数券（グリーン回数券）も新設 3・20 ポートピア'81ピストンバス（新神戸・三宮－博覧会ゲート）運行開始 市バス300系統（兵庫昼間バス）廃止 4・1 市バス400系統（灘昼間バス）廃止 4・5 地下鉄2編成8両の新鋭車両を導入 4・27 中央市民病院直通バス運行開始（9月14日まで） 9・15 ポートピア'81閉幕、ピストンバス200万人輸送を記録し運行を終える 11・20 市バス76系統「神の谷線」（名谷駅－神の谷－名谷駅）運行を開始 12・1 「神戸市交通局六十年史」を発刊 12・12 市バス15系統「桃山台線」（名谷駅－桃山台）運行を開始 市バス近郊区の料金改定（民営同調）を実施	1・20 米国大統領にレーガン就任 2・4 ポートアイランド完成 2・5 新交通ポートアイランド線営業開始 2・23 ローマ法王パウロ2世来日、広島で平和アピール 3・3 国鉄赤字ローカル線77路線廃止の政令決定 3・14 新中央市民病院オープン 3・20 ポートピア'81開幕（9月15日まで） 7・26 福岡市の地下鉄1号線（室見－天神間）開業 10・16 北炭夕張新鉱でガス事故 10・19 京大・福井謙一教授、ノーベル化学賞受賞 11・28 '85ユニバーシアード神戸大会の開催決定
昭和57年 (1982)	1・8 市バス料金（普通区）を140円に本改定 1・14 地下鉄西神線・山手線貫通 1・17 三宮駅前バスターミナル完成 2・17 地下鉄西神延伸線事業免許 4・1 市バス21系統西神ニュータウン線（名谷駅－西神住宅団地）運行を開始 4・15 さんちかインフォメーションギャラリーで「地下鉄5周年」開催 6・2 交通事業審議会「地下鉄財政のあり方」を答申 10・1 地下鉄料金改定（大人1区120円・2区150円）、回数券制度を新設 市バス12・13・14系統、明石市バス料金改定に同調改定	1・18 ポートライナー無人化営業 2・9 日航機、羽田沖に墜落 4・2 アルゼンチン、英国フォークランド諸島占領 4・21 ユニバーシアード組織委員会発足 プラネタリウム館オープン 5・1 「新空港計画神戸試案」発表 6・4 旧中央市民病院跡地利用きまる 6・7 神戸市コンベンション推進本部設置 6・14 1人あたり公園面積大都市でトップに 6・23 東北新幹線（大宮－盛岡間）開業

年 号	事 項	内 外 事 情
	10・3 六甲登山バス500万人突破 12・1 市バスボディペインティング実施 12・8 地下鉄山手線車両入線	7・1 都市景観形成基本計画策定 8・1 西区発足 9・2 国鉄のリニアモーターカー、日向市の実験で世界初の有人浮上走行 9・22 山陽電鉄（西代－東須磨）地下化事業始まる 11・3 市立博物館オープン 11・15 上越新幹線（大宮－新潟間）開業
昭和58年 (1983)	1・21 地下鉄西神延伸線起工式 2・1 山陽バス料金改定に伴い市バス同調改定（51・52・53・54・55・15系統） 3・1 地下鉄5両編成 4・28 高速鉄道部第1建設事務所を名谷に移転 5・30 バスロケーションシステムがスタート 6・17 地下鉄山手線部分開通（新長田－大倉山） 7・19 観光バスナイトツアー運行開始 8・31 地下鉄乗車人員1億人突破 10・1 交通モニター発足 10・31 交通事業審議会「市バスの当面の財政運営のあり方」について答申 12・1 市バス近郊区料金同調改定 12・3 落合運輸事務所開所 12・4 灘運輸事務所、高倉操車場閉所 12・5 市バス77・78系統（落合循環線）運行開始、市バス75系統（須磨一の谷－高倉台）を地下鉄妙法寺駅まで路線延長 12・20 地下鉄禁煙タイムがスタート	2・14 新・こうべの市民福祉計画まとまる 3・1 新神戸駅前土地区画整理事業が完成 3・13 東北大学で日本初の体外受精妊娠成功 4・15 東京デイズニーランド開園 5・13 サラ金規制2法公布 5・24 グリーンコウベ作戦の植樹1,000万本達成 5・26 六甲北有料道路開通 日本海中部地震（秋田沖）大津波で99人死亡 6・24 神戸・天津友好都市提携10周年 8・8 港湾幹線道路（六甲アイランド－高羽大橋）開通 8・13 金融機関で初めて第2土曜日休日制を一斉実施 9・1 自転車条例施行 大韓航空機、サハリン上空で撃墜される 10・22 北区制10周年
昭和59年 (1984)	2・15 地下鉄大倉山－布引間貫通 2・18 市内定期観光バス乗客60万人突破 3・30 神戸交通振興株式会社発足 4・25 市バス定期券をデパートで発売 4・28 市バス料金（普通区）を160円に改定（11月30日まで150円）、あわせて学期定期券、持参人式全線定期券、1日・2日乗車券を新設	1・18 福岡三井三池有明鉱で抗内火災発生 4・29 青少年科学館オープン 5・1 神戸市の人口140万人に 5・26 森林展示館オープン 7・24 神戸ウォーターの発売始まる 8・10 日本専売公社が民営化 9・1 平磯海づり公園オープン

年 号	事 項	内 外 事 情
	8・27 交通事業審議会「市バス路線の再編成の考え方」について答申 11・6 山手線レール締結式 11・10 第2期交通モニター発足 12・1 市バス料金（普通区）本改定 12・18 地下鉄西神延伸線名谷－学園都市間で試験入線を開始	10・4 神戸総合運動公園陸上競技場完成 10・5 神戸ポートアイランドホール完成 10・28 農業公園オープン、神戸ワイン発売 11・2 山麓バイパス開通
昭和60年 (1985)	1・28 交通事業審議会「高速鉄道事業の当面する諸課題の対応策」について答申 2・1 地下鉄山手線試験入線を開始 3・1 市バス12・13・14系統同調改定 4・1 市バス66系統（三宮－ひよどり台）運行開始 4・8 市バス13系統を若宮団地まで延長 5・20 地下鉄シンボルマーク決定 6・18 地下鉄学園都市－名谷間3.3km、大倉山－新神戸間3.5kmの延伸開業 地下鉄料金改定（1区140円、2区170円）、地下鉄新神戸－三宮－学園都市駅間開通に伴い、市バス路線再編成を実施（6・7・9・10・11・14・18・20・21・53・54・57・71・86） 忘れ物取扱所と観光案内所を三宮駅に移転 学園都市駅ビルオープン 9・7 Uライン三宮ビルオープン 12・1 市バス近郊区料金を同調改定 12・12 地下鉄西神延伸線表山トンネル貫通式	1・21 六甲アイランドコンテナパース供用開始 3・14 東北・上越新幹線上野－大宮間開業 3・16 科学万博つくば博'85が開幕 4・1 日本電信電話株式会社（NTT）、日本たばこ産業株式会社が発足 4・4 国際捕鯨委員会の商業捕鯨禁止決定に日本政府が同意、1988年3月までの撤退が正式に決定した 5・17 男女雇用機会均等法が可決（1986年4月1日施行） 6・8 本州四国連絡橋の大鳴門橋開通 6・11 市民皆水道を達成 7・1 キャプテンシステムによる情報提供の開始 7・16 プリスベーン市と姉妹都市提携 7・21 コウベグリーンエキスポ'85開幕 8・12 日航機が群馬県上野村山中に墜落 8・17 神戸国際青年会議を開催 8・24 ユニバーシアード神戸大会開催 9・18 「国際スポーツ都市」を宣言 9・25 インナー工業団地竣工 10・27 宮崎市長5選 11・28 新交通六甲アイランド線の免許を申請
昭和61年 (1986)	4・1 市バス78系統の一部路線変更 4・8 市バス22系統（学園都市駅－西神住宅団地）新設 5・31 地下鉄三宮・名谷両駅でBGM放送開始 6・2 市バス15系統、青山台まで路線延長	2・1 第3次神戸市総合基本計画を策定 第3次神戸市生活環境基準を策定 2・21 新・こうべの市民福祉計画第4次3か年計画を策定

年 号	事 項	内 外 事 情
	6・25 市バス・地下鉄コンピューターガイド設置 市バス西神操車場地鎮祭 6・30 神戸市交通局本局、仮事務所（中央区役所8～9階）へ移転 10・1 地下鉄学園都市－西神中央間のレール締結式を挙行政 12・4 学園都市－西神中央間で試験入線	3・28 学園都市キャンパススクエアオープン 4・1 神戸市外国語大学、新学舎（学園都市）へ移転、開学 4・24 神戸市電子計算機処理に係る個人情報保護に関する条例施行 4・26 ソ連ウクライナ共和国のチェルノブイリ原発爆発事故 5・2 東京サミット開催 9・1 フェスティック神戸開催決まる 9・3 新交通六甲アイランド線着工 9・26 神戸在宅ケア研究所発足 10・1 しあわせの村福祉施設の起工式 12・1 公文書公開制度スタート
昭和62年 (1987)	1・8 山陽バス料金改定に伴う市バス同調改定（15・51～55系統） 3・1 明石市バス料金改定に伴う市バス同調改定（12・13系統） 3・16 市バス西神操車場を開場 3・18 地下鉄全線開通、あわせて各種の記念イベントを実施 市営地下鉄全駅でBGM放送開始 地下鉄西神中央駅開業に伴い、西区内の市バス路線再編成を実施（12・13・14・21・22・23・24・27・57） 4・8 市バス14系統、一部「吹上地区」へ運行開始 4・29 市バス急1・18系統、メリケンパークまで路線延長 5・18 市バス64系統「神戸北町」まで延長運転開始 5・23 都市新バス10系統「かもめライン」を本格運行 7・16 須磨海浜水族園のオープンに伴い、市バス臨85系統を新設運行 9・1 市バス14系統「北別府地区」新線運行 9・5 第3期交通モニター発足 9・28 市バス100系統を新設 北神急行レール締結式 10・19 市バス2系統、元町まで路線延長 11・21 市バス22・23・27系統、西神ニュータウン内で路線延長 12・1 民営バス料金改定に伴う市バス近郊区同調改定 12・7 「KOBE七福神めぐり」市内観光バス運行開始 12・22 交通事業審議会「市バス事業の財政再建終了後の財政運営のあり方（中間答申）」について答申	1・17 市内でエイズ患者発生、市役所内にエイズ対策本部を設置 1・23 新市庁舎の建設着工 3・5 各区の花きまる 3・21 動物科学資料館オープン 3・23 中央卸売市場本場の改築完了 4・1 国鉄分割民営化発足 4・29 神戸開港120年祭開催、あわせてメリケンパーク、海洋博物館オープン 都心周遊観光バス（ループバス）を運行（～5／5・7／19～8／9） 7・1 自転車駐輪場の有料化実施 7・11 ポートライナー乗客1億人達成 7・15 須磨海浜水族園、新装オープン 7・17 仙台市の地下鉄南北線開業 7・19 神戸チーズ館オープン 11・20 総合児童センター「こべっこだ」オープン 12・16 第2新神戸トンネル貫通 12・18 神戸ヘリポート供用開始

年 号	事 項	内 外 事 情
昭和63年 (1988)	1・20 西神工業団地操業企業の拡大に伴い市バス12・23系統路線の一部を変更及び新設	1・5 土地取引の監視区域指定スタート
	3・10 地下鉄専用プリペイドカード「Uラインカード」発売開始	3・6 「グリーンスタジアム神戸」完成
	3・15 市バス60系統（六甲アイランド-JR住吉駅前）暫定輸送開始	3・13 世界最長の青函トンネル開通、津軽海峡線開業
	3・21 市内定期観光バス、6 コースに増便	3・15 六甲アイランドで入居始まる
	4・2 北神急行電鉄「谷上-新神戸」間開通に伴い、相互直通運転を開始	4・2 北神急行開業
	市バス62系統（谷上-神戸北町）新設	4・10 瀬戸大橋の営業開始（9.4km）、JR四国の本四備讃線茶屋町-宇津田間開業
	4・8 市バス79系統（東白川台-名谷駅）、臨5系統（妙法寺駅-若草町）の運行開始 これに伴い、市バス71系統（妙法寺駅-白川台）を廃止	4・18 2001年神戸観光基本計画まとまる
	7・1 市バス65・66系統をしあわせの村まで路線延長	4・26 山手幹線が全線開通
	10・12 市営地下鉄料金改定を実施（1区20円アップ、6か月定期券の新設） 市バス料金（普通区）を180円に改定（平成元年10月1日まで170円）	7・31 63全国高校総体開催（～8/20）
	12・5 市バス101系統（駒ヶ林公園-大日丘住宅前）を運行開始	11・16 第2神戸トンネル開通
	平成元年 (1989)	1・25 バスレーン監視員制度がスタート
2・1 市バス21系統をハイテックパークまで路線延長		4・1 市制100周年記念式典開催
4・1 市バス近郊区料金改定 市バス16・17・36系統をJR六甲道北側駅前広場へ乗入れ		4・23 しあわせの村開村
4・8 市バス22・23・27系統を西体育館まで路線延長		6・19 神戸市文書館オープン
4・20 市バス120系統（名谷駅前-しあわせの村）の運行開始		7・21 JR西日本が大阪-札幌ノンストップ、トワイライト・エクスプレス運行
4・29 ボンネットバス「こべっこ号」が17年ぶりに復活		9・9 神戸市役所新庁舎開庁
5・3 市バス明石市競合均一区間料金改定		9・15 フェスビック神戸大会開催（～9/20）
7・1 市営地下鉄各駅ラッチ内終日禁煙（地上駅のみ喫煙コーナー設置）		9・27 横浜ベイブリッジ開通
9・1 市バス74系統を多井畑厄神-柏台まで路線延長 市バス72系統を終日時計廻り、一方循環を午前のみ逆時計廻りに運行方法を変更 市バス無担当車制を実施		11・11 東ドイツでベルリンの壁撤去
9・4 市営地下鉄三宮駅構内に「お客さまサービスコーナー」開設		11・16 神戸ファッションフェスティバルを開催（～11/26）
10・1 市バス普通区・明石市競合均一区間料金改定		11・20 笹山市政発足
11・6 市営地下鉄の車両組成を6両に変更		12・2 米ソ首脳会談が開幕、米ソ冷戦時代の閉幕を宣言

年 号	事 項	内 外 事 情
	12・1 市バス近郊区料金改定 市バス56系統（学園都市駅－学園緑が丘）の運行開始	
平成2年 (1990)	2・20 市バス60系統（JR住吉駅－六甲アイランド）の暫定輸送終了 3・1 バスダイヤ作成支援システム導入 4・7 シティー・ループバス運行開始 4・8 市バス24系統を工業団地回りに路線変更 4・10 市バス61系統のワンマン化実施（市バス路線バスワンマン化100%を達成） 5・2 西区ハイテクパーク内に新車両工場開所 5・12 長田車両工場閉鎖 7・1 市バス28系統（西神中央駅－西体育館）の運行開始 9・6 市バス60周年記念イベント「神戸バス博」開催（11日まで） 9・16 市バス創業60周年 10・16 市バス13系統を若宮団地へ乗入れ 11・1 市バス75系統に須磨区役所回りの路線を新設 11・20 市バス50系統（朝霧駅－学園都市駅）の運行開始 12・1 市バス舞子線料金改定	2・21 六甲ライナー開業 3・15 ソ連初代大統領にゴルパチョフ 4・16 六甲北有料道路が全線開通 6・4 区役所の印鑑登録、証明事務オンライン化がスタート 8・9 神戸市住宅基本計画策定 10・1 神戸市観光情報ネットワークシステム稼働 10・3 東西ドイツが統一される 12・1 NTTの104番電話番号案内、30円の有料に
平成3年 (1991)	7・22 市バス2系統をJR六甲道駅前まで路線延長 10・25 太陽電池式バス停留所標識柱を地下鉄三宮駅前に2基試験設置 12・1 市バス67系統（岡場駅－藤原台南町）、68系統（岡場駅－北神星和台）の運行開始 市バス近郊区料金改定 12・20 低公害、省エネルギーハイブリッドバス（ディーゼル電気式ハイブリッドバス）の運行開始	2・18 都市環境基準とその実施計画を策定 3・9 東京新都庁舎落成式 4・1 牛肉・オレンジ輸入自由化 5・8 育児休業法成立 5・14 信楽高原鉄道で正面衝突事故、死者42人 6・4 雲仙・普賢岳で火砕流発生、死者42人 9・1 第2布引トンネルが開通 9・12 埋蔵文化財センターがオープン 10・1 六甲アイランドに神戸ファッションマートがオープン 12・2 民間駐車場整備助成制度を創設
平成4年 (1992)	3・1 市バス32系統（六甲道駅前－御影山手）を中型バスにより運行開始 3・30 市バス120系統にリフト付バス3両導入 4・1 市バス普通区料金200円に改定 市営地下鉄の料金改定実施（1区20円アップ、消費税を含む）（併算区間割引開始）	5・12 職員採用試験（大学卒）に国籍を問わない試験区分を新設 6・15 PKO協力法成立 7・1 山形新幹線開業 8・1 東京山手線全駅で終日禁煙

年 号	事 項	内 外 事 情
	4・26 市バス9系統（吉田町1－湊川公園－吉田町1）の運行開始、市バス100系統（磯上公園前－吉田町1）を廃止 12・19 市営地下鉄に土曜ダイヤを導入	9・2 神戸空港を活用した神戸都市圏整備方策調査報告書まとまる 9・7 救急救命士養成所を開設 10・1 神戸市地域サービス情報システム（あじさいネット）が稼働 11・3 小磯記念美術館がオープン 11・17 第2布引トンネルが供用開始 11・21 完全土曜閉庁を実施 12・24 大阪湾臨海地域開発整備法公布
平成5年 (1993)	1・23 市バス土曜ダイヤ実施 2・7 市バス12系統を西神墓園まで延長 3・1 市バス明石市競合均一区間料金改定 3・17 市バス中央営業所開所 3・20 市営地下鉄西神南駅営業開始、県庁前駅に駅名変更 市バス60系統（岡場駅－東有野台）の運行開始 市バス21系統（西神南駅前－ハイテクパーク－友清）の運行開始 市バス20系統（西神南駅前－ハイテクパーク）の運行開始 3・26 市バス14系統（明石駅前－吹上）を廃止 4・1 シティー・ループバスをハーバーランド方面に延伸「西神操車場」を「西神営業所」に変更 市営地下鉄ストアードフェアカードの発売開始 4・8 市バス58系統（朝霧駅前－伊川谷駅前）の運行開始 4・20 市バス69系統（岡場駅－フルーツフラワーパーク）の運行開始 4・26 市営地下鉄海岸線新長田－三宮間7.9kmの地方鉄道事業免許おりる 7・9 市営地下鉄の快速電車運行開始 9・6 市バス150系統（神戸駅前－しあわせの村－西鈴蘭台駅）の運行開始 9・13 市バス西神ニュータウン内（21・22・23・24・27・28系統）路線再編成 12・1 市バス近郊区料金改定	1・20 米国ビル・クリントンが第42代大統領に就任 4・1 アーバンリゾートフェア神戸'93開幕 5・15 サッカーJリーグ誕生 7・12 北海道南西沖地震、奥尻島青苗壊滅
平成6年 (1994)	1・23 楽しいバス（赤色のバス）運行（6・18系統） 4・19 地下鉄海岸線起工式 4・25 公共輸送機関優先システム導入 8・1 市バス20系統（西神中央駅－秋葉台、桜が丘－押部谷〔栄〕）の運行開始（三社共同運行） 9・1 市バス17系統（貿易センター前－六甲道駅前）を廃止	3・28 神戸市行財政改善推進本部設置 4・2 阪神高速湾岸線全線開通 5・6 ドーバー海峡の地下トンネル、ユーロトンネルが開通 5・10 神戸市違法駐車防止条例施行 9・4 関西国際空港が開港

年 号	事 項	内 外 事 情
平成7年 (1995)	1・17 阪神・淡路大震災	1・17 神戸を中心に阪神・淡路大震災が発生(マグニチュード7.2)
	1・18 市営地下鉄西神中央-板宿間運行再開	神戸市災害対策本部設置
	2・ 1 市バス200系統(西神中央駅-平野-西体育館)の運行開始	政府・非常災害対策本部設置
	2・16 市営地下鉄全線運行再開(新長田・上沢・三宮駅通過)	1・23 JR三宮駅から鉄道代替バスタータート
	3・ 3 市バス80系統に中型バス導入	1・26 神戸市の災害復興本部発足
	3・31 市営地下鉄全駅営業再開	1・31 天皇・皇后両陛下、神戸市に行幸啓
	4・10 仮設住宅対応として、市バス臨24系統(糀台南・狩場台南回り)の路線新設	2・ 1 三宮に震災後初めて電車乗入れ(阪神電車)
	6・ 1 超低公害・天然ガスバス運行開始	4・ 8 東海道・山陽新幹線が全線復旧
	6・22 震災により運休していた市バス全路線が運行復旧	5・18 天気予報が自由化され、局地予報に限り民間にも解禁
	7・ 5 市バス90系統(石屋川車庫-中突堤)の運行開始	6・12 阪急電鉄全線開通
	7・20 震災により運休していたシティー・ループバスの運行再開	6・18 山陽電鉄全線開通
	8・10 市バス68系統を神鉄道場駅まで路線延長	6・22 神戸電鉄全線開通
	9・ 1 市バス158系統(箕谷駅前-しあわせの村)の運行開始	6・26 阪神電鉄全線開通
	9・11 市バス62系統(谷上駅前-神戸北町)を廃止 仮設住宅対応として、市バス直行66系統(三宮駅前-しあわせの村)の運行開始(観光バス使用)	7・31 ポートライナー全線開通
	10・ 1 市バス舞子線料金改定	8・13 神戸高速鉄道全線開通(大開駅通過)
		8・23 六甲ライナー全線開通 被災地の鉄道網がすべて復旧
	12・15 「神戸ルミナリエ」初開催	
	12・26 神戸市行財政改善緊急3ヵ年計画策定	
平成8年 (1996)	3・18 市バス石屋川線に無線方式によるバスロケーションシステムの運用開始	1・20 初のパレスチナ自治選挙
	4・ 1 市バス舞子線料金改定	2・ 9 神戸ファッション産業復興支援センター開設
	5・ 1 仮設住宅対応として、市バス臨65系統(ひよどり台-ひよどり台住宅南口)の運行開始	3・17 WHO神戸センター開所式
	12・ 1 市バス68系統を西山小学校前-北神星和台まで路線延長	3・20 中突堤旅客ターミナルの供用開始
		5・15 震災後初の神戸市民全世帯アンケート実施(～6/10)
	6・ 1 災害時における相互応援協定の締結(神戸市に隣接する6市2町)	
	8・24 ハーバーハイウェイ全線開通	
	9・24 包括的核実験禁止条約(CTBT)の署名式が国連本部で行われる。	
	9・30 阪神高速道路3号神戸線の全線開通	

年 号	事 項	内 外 事 情
平成9年 (1997)	1・8 市バス近郊区料金改定 4・1 市バス・地下鉄共通カード運用開始 4・28 市バス11系統を前池町－板宿まで路線延長 5・23 ダイヤ改正（最終列車発車時刻延長） 9・22 市バス18系統（メリケンパーク－摩耶ケーブル下）を阪神前－摩耶ケーブル下－JR六甲道駅に変更、これに伴い2系統の阪急六甲－JR六甲道駅間を廃止	1・2 ロシア船籍のタンカー「ナホトカ」沈没、大量の重油流出 1・28 兵庫県警本部新庁舎落成式 3・30 国内最大の三井三池鉱山が閉山 3・31 13大都市災害時相互応援に関する協定の締結 4・1 インターネット版「市長への手紙」開始 消費税率が3%から5%にアップ 4・25 神戸ファッション美術館オープン 5・20 国際港湾都市「神戸サミット」「神戸宣言」発表 6・1 「ポイ捨て禁止条例」施行 7・18 神戸交通センタービル全館オープン 10・1 北陸新幹線開業 12・9 介護保険法が成立
平成10年 (1998)	1・30 神戸市域におけるバス路線網検討会設置（神戸電鉄、神姫バス、阪急バス、神戸市交通局、震災復興本部総括局） 1・31 市バス4・101系統の長田5－長田8間を路線変更 2・1 市バスのアイドリングストップ運動開始 3・28 市バス90系統を中突堤中央ターミナルまで路線延長 3・30 市バス17系統（駒ヶ林公園－しあわせの村）の運行開始 市バス101系統（駒ヶ林公園－大日丘住宅前）及び臨65系統（ひよどり台－ひよどり台南口）を廃止 5・－ 市バスにアイドリング・ストップ&スタートシステム装着車導入 6・1 市バス11系統に平野回りの路線新設 10・1 市バス臨系統としてJR六甲道－HAT神戸・灘の浜間の運行開始 10・12 市バス初のノンステップバス導入 10・28 市バス121系統（学園都市駅－西部障害者センター）の運行開始 11・1 市バス41系統の磯上公園前－湊川公園西口間を廃止 12・24 市バス51系統を学園都市駅まで路線延長	1・17 「神戸市民の安全の推進に関する条例」施行 1・30 低公害車レンタル会社「神戸エコカー」設立 2・2 郵便番号が7ケタに移行 2・7 第18回冬季オリンピック長野大会開幕 3・27 中突堤中央ターミナル完成 3・28 HAT神戸まちびらき 4・1 日本版「ビッグバン（金融制度改革）の先陣切り、改正外国為替管理法施行 4・5 明石海峡大橋開通 世界最長（3,911m）のつり橋・明石海峡大橋が開通 7・11 「北野工房のまち」及び「神戸・北野観光バス駐車場」のオープン 9・1 こうべ防災ネット運用開始

年 号	事 項	内 外 事 情
平成11年 (1999)	4・1 貸切観光バス事業を廃止	4・14 JR東海と鉄道総合技術研究所
	4・26 仮設住宅対応の市バス直行66系統を廃止	のリニアモーターカーが時速
	4・30 神戸市交通事業経営健全化計画を策定	552kmの世界記録を達成
	6・28 市バス12系統の久保駅前－明石駅前間を廃止	4・28 神戸ブランドプラザオープン
	7・21 交通事業審議会「市バス路線再編成の考え方」について答申	(東京・北青山)
	8・1 市営地下鉄料金改定	7・30 神戸港島トンネルの開通
	10・1 スルッとKANSAIネットワークに加入	8・5 神戸防災合同庁舎オープン
	11・1 仮設住宅対応の市バス臨24系統を廃止	8・17 トルコ西部でマグニチュード
	11・18 「たばこ広告禁止」を宣言、世界保健機関（WHO）主催の「たばこと健康に関する神戸国際会議」で採択	7.4の大地震、死者1万7,000人以上
	12・1 市営地下鉄「長田駅」に「長田神社前」の呼称名を追加	9・13 神戸空港着工（汚濁防止膜の設置）
		9・21 台湾中部でマグニチュード7.7の大地震、死者2,000人を超す
		10・12 世界人口が60億を突破
		10・29 神戸空港起工式
平成12年 (2000)	3・1 市営地下鉄新神戸－西神中央間の線名を西神・山手線に決定	1・17 東遊園地に「慰霊と復興のモニュメント」が完成
	4・1 定期観光バス事業を廃止 市営地下鉄三宮－板宿（特定区間）の料金割引（10円）の廃止 市営地下鉄三宮駅構内お客さまサービスコーナーの業務を民間へ委託	2・14 新「東灘区総合庁舎」完成、業務が開始される
	5・1 12系統の西神中央駅前－上岩岡間で小型バスを運行	3・18 淡路花博「ジャパンフローラ2000」開幕
	5・15 64系統三宮駅前－神戸北町間でロングボディバスを運行	3・29 市立博物館・海岸ビル等市内11件の建築物が神戸市都市景観条例に基づく初の指定となる景観形成重要建築物に指定された
	6・14 地下鉄海岸線第1号車両御崎車庫へ搬入	4・1 介護保険制度がスタート
	6・24 市バス開業70周年記念の一環としてボンネットバス（ワンコインバス）を運行（9月末まで土・日・祝のみ運行）	5・1 震災で本館が全壊し、再建工事を進めてきた西市民病院が全体オープン
	6・26 CNGノンステップバス運行（34・35系統）	7・7 須磨海浜水族園にアマゾン館がオープン
	7・1 市営地下鉄で初めての女性駅掌誕生	10・6 鳥取県西部で震度6強の地震
	7・21 5系統路線変更（若草町団地内乗入れ）	10・25 中国上海市に「神戸館（KOBÉ・PLAZA）がオープン
	8・10 海岸線全線レール締結	12・12 「神戸ルミナリエ」開幕、25日までに474万人入場
	8・22 海岸線一部路線試運転開始	
	9・1 47系統路線新設（西神南駅－井吹台西町循環）	
	9・12 民間企業「デザイン広告」バス運行開始	
	10・1 フェアライドシステム導入	
	10・14 鉄道フェアこうべ2000開催	
	11・15 海岸線全線試運転開始	
	12・20 HAT神戸脇の浜線路線新設（101系統）	

年 号	事 項	内 外 事 情
	12・31 21世紀復興記念事業のイベントとして、大晦日地下鉄終夜運行・市バス終発時間の延長	
平成13年 (2001)	3・2 121系統学園都市駅－西部障害者センター及び191系統舞子駅前－西部障害センター路線を掖済会病院へ延長 3・5 158系統しあわせの村－箕谷駅路線の谷上駅延長 3・17 阪神・淡路大震災後休止していた26系統及び40系統の「摩耶ロープウェー山上駅」への乗入れ再開 4・1 急1系統石屋川－メリケンパーク（7.8km）路線の廃止 神戸市交通局所有光ファイバーの芯線の一部（地下鉄海岸線沿線26.8km）を民間事業者に賃貸 5・31 地下鉄海岸線の運賃設定認可 6・9 地下鉄西神・山手線に弱冷車の運用開始 6・17 地下鉄海岸線の開業前体験試乗会実施 7・6 地下鉄海岸線開業式典開催 7・7 地下鉄海岸線（7.9km）開業 市バス路線再編成実施	1・13 第3回ASEM（アジア欧州会合）神戸財務大臣会議を開催（～1／14） 1・19 神戸経済新生会議の提言がまとまる 3・17 まやビューライン夢散歩が営業再開 3・31 USJ（ユニバーサル・スタジオ・ジャパン）開業 4・1 神戸こころの健康センターを開設 4・26 神戸市住宅基本計画（2001－2010）を策定 6・1 市の人口が再び150万人に回復 6・27 神戸空港における環境創造基本計画を策定 9・11 米国同時多発テロ発生 9・26 エコテック21構想を策定 10・10 神戸ウイングスタジアム（第1次整備）が完成 10・29 テロ対策特別措置法成立 11・20 矢田市政発足 12・1 神戸市情報公開条例を施行 危機管理対策プロジェクトチームを設置
平成14年 (2002)	1・7 市バス・地下鉄乗継割引の実施 3・13 地下鉄25周年 7・7 地下鉄海岸線開業1周年記念イベント実施 市バス・地下鉄1日乗車券、地下鉄1日乗車券の発売 12・16 地下鉄全路線で日本初めてとなる毎日実施・終日女性専用車両を導入	2・7 神戸－関西国際空港を結ぶ高速艇「K-JET」の航路を廃止 3・1 各区役所・支所に子育て支援室を設置 3・18 神戸市雇用対策本部を設置 3・19 ダイエー、産業活力再生特別措置法申請 3・22 新 神戸市環境基本計画を策定 4・1 危機管理監を新設、危機管理室を設置 4・27 兵庫県、人と防災未来センターがオープン

年号	事項	内外事情
		6・5 FIFAワールドカップ日韓共催で開催（～6/13、神戸会場：神戸ウイングスタジアム） 8・1 西区制20周年 9・25 神戸ロボット研究所がオープン 11・9 「王子動物園」入園者5,000万人達成
平成15年 (2003)	3・28 神戸市電の里帰り披露式典（御崎公園） 3・31 列車非常停止装置（三宮駅）の設置 4・1 シティー・ループの運行を神戸交通振興に譲渡 6・5 市営地下鉄初の女性車掌2名発令	3・25 神戸ウイングスタジアムがグランドオープン 4・1 男女共同参画条例を施行 4・13 神戸市議会議員選挙・兵庫県議会議員選挙 4・21 「先端医療産業特区」「国際みなと経済特区」が構造改革特区に認定 5・1 健康増進法施行 7・1 神戸臨床研究情報センターが全面オープン 7・19 海フェスタKOBEを開催（～7/26） 8・25 住民基本台帳ネットワーク本格稼働 10・26 ファッション都市宣言30周年記念事業を実施 11・3 阪神タイガース18年ぶりのリーグ優勝を記念し神戸パレードを実施 11・28 「六甲有馬観光特区」「人と自然との共生ゾーン特区（大都市近郊農業特区）」が構造改革特区に認定
平成16年 (2004)	4・1 市バス有野営業所の管理委託開始 9・- 交通事業の経営改革プラン「レボリューション2004」発表 9・1 駅ナンバリングを採用	1・23 日本郵政株式会社発足 3・8 神戸市役所本庁舎でISO14001の認証を取得 4・1 神戸市立科学技術高校が開校 フラワーロードに「歩きたばこ・ポイ捨て厳禁エリア」を設定 5・6 灘区役所が新庁舎へ移転及び業務開始

年 号	事 項		内 外 事 情	
			6・1	「資源リサイクルセンター」「こうべ環境未来館」がオープン
			6・28	神戸バイオメディカル創造センターがオープン
			10・23	新潟県中越地震発生
平成17年 (2005)	4・1	市バス魚崎営業所（神戸交通振興）・松原営業所（阪急バス）の管理委託を実施 市バス西神地域5路線の移譲（神姫バス）	1・18	国連防災会議開催（～1/22）
	6・1	広告付きバス停ベンチを設置	3・20	福岡県西方沖（玄界灘）地震発生
	10・1	エコファミリー制度を本格導入	3・31	阪神・淡路大震災神戸市災害対策本部を廃止
	11・1	市バスの地下鉄三宮駅（南行）バス停に広告付き上屋を設置し供用開始	4・1	企業誘致を進めるため「神戸エンタープライズプロモーションビューロー」を創設
			4・25	福知山線脱線事故
			4・28	神戸市、「まちかど救急ステーション」開設
			4・29	三宮駅前中央歩道橋供用開始
			6・1	神戸市、「安全・安心情報の電子メールサービス（ひょうご防災ネット）」運用開始
			7・1	第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議を神戸国際会議場を主会場に開催
			8・16	宮城県沖地震発生
			8・17	こうべユニバーサルデザインフェア2005開催（～8/24）
			8・29	こうべ健康科学（ライフサイエンス）振興会議の開催
			9・1	兵庫県住宅再建共済制度開始
			9・5	こうべICT推進計画策定
			9・12	須磨ベルトコンベアの土砂運搬を終了
			10・1	神戸市、すまいの耐震ネットワーク創設
平成18年 (2006)	4・1	市バス落合営業所・西神営業所の管理委託を実施	1・11	中突堤旅客ターミナルがリニューアルオープン
	4・20	バス停ネーミングライツ スポンサー第1号の決定	2・2	神戸新交通、ポートライナー延伸開業（先端医療センター前駅、ポートアイランド南駅、神戸空港駅の3駅新設）
	7・7	地下鉄海岸線開業5周年		
	10・1	市営地下鉄全線でICカードシステム「PiTaPa」を導入		
	10・2	「こうべバイオガス」の市バスでの営業運行を開始		

年 号	事 項		内 外 事 情
			<p>2・10 神戸医療機器開発センター (MEDDEC) 開設、サポートプラザの本格運用開始</p> <p>2・16 神戸空港が全国97番目の空港として開港</p> <p>3・ 8 神戸市、インターネットを利用した電子申請受付サービスを開始</p> <p>3・18 神戸市農漁業ビジョン2010策定</p> <p>3・23 神戸市消費者基本計画策定</p> <p>7・ 5 布引水源地水道施設が国重要文化財に認定</p> <p>7・13 神戸－関空を結ぶ海上アクセス「ベイ・シャトル」運航開始</p> <p>9・ 1 神戸ファッションウィーク開催 (～9/10)</p> <p>9・30 のじぎく兵庫国体 (第61回国民体育大会)・のじぎく兵庫大会 (第6回全国障害者スポーツ大会) 開催</p> <p>10・ 1 阪急ホールディングスと阪神電鉄が経営統合し阪急阪神ホールディングス誕生</p> <p>12・ 4 神戸文学館開館</p>
平成19年 (2007)	3・13	地下鉄西神・山手線開業30周年	<p>1・ 1 神戸市政の透明化の推進及び公正な職務執行の確保に関する条例施行</p> <p>3・ 1 神戸市「いじめホットライン」設置</p> <p>3・15 神戸市国民保護計画公表</p> <p>3・23 神戸ゆかりの美術館開館</p> <p>3・25 能登半島沖地震発生</p> <p>3・26 神戸健康科学 (ライフサイエンス) 振興ビジョン策定</p> <p>3・30 神戸花物語2007開催 (～4/1)</p> <p>4・ 1 公立大学法人神戸市外国語大学発足 ポートアイランド西地区に3大学開設 (神戸学院大学、兵庫医療大学、神戸夙川学院大学) 神戸市、事業系ごみの指定袋制度導入</p>

年 号	事 項		内 外 事 情	
			5・10 5・12 7・16 8・3 10・1 10・6	須磨海浜水族園開業50周年 神戸・シアトル姉妹都市提携50周年 新潟県中越沖地震発生 神戸のシンボル花時計が50周年 民営郵政スタート 神戸ビエンナーレ初開催
平成20年 (2008)	7・7 9・1 10・1	地下鉄海岸線開業7周年記念事業 市バス全線でICカードシステム「PiTaPa」を導入 新たな敬老優待乗車制度スタート	2・29 3・5 4・1 4・28 5・12 5・24 6・9 7・9 9・5 9・15 10・16	神戸市耐震改修促進計画策定 淡路市沖合の明石海峡航路内で3隻の衝突事故が発生 神戸市ほい捨て及び路上喫煙の防止に関する条例施行 須磨海岸を守り育てる条例施行 日伯交流年・ブラジル移住100周年 中国・四川大地震発生 G8サミット環境大臣会合の神戸開催（～5/26） 世界観光機関（UNWTO）大都市観光国際会議の神戸開催 神戸市（新長田地区）中心市街地活性化基本計画策定 神戸市・天津市友好都市提携35周年 米国リーマンブラザーズ破綻をきっかけに金融危機 神戸市、ユネスコ デザイン・都市にアジアで初認定
平成21年 (2009)	10・1	神戸交通振興、シティー・ループバスの増便・新ルート開設	1・16 3・19 3・20 3・20 3・31	前年9月の米国金融危機を発端とするいわゆるリーマンショックに伴い、神戸市「市民生活を守るための経済・雇用緊急対策本部」を設置 神戸市配偶者暴力対策基本計画策定 阪神なんば線の開通により近鉄電車の乗入れ開始 「こうべ買っ得商品券」発売 神戸市教育基本計画策定

年 号	事 項		内 外 事 情	
			4・1 4・23 5・21 6・3 10・4 10・19 10・30 11・19	神戸市制施行120周年 しあわせの村開村20周年 裁判員制度施行 海外移住と文化の交流センター開設 長田区若松公園に鉄人28号実物大モニュメントが完成 「こうべバイオガス」全国初の都市ガス利用で地球温暖化防止に貢献 神戸空港搭乗者1000万人達成 兵庫県下自治体初の電気自動車の公用車を購入
平成22年 (2010)	4・7 7・7 9・1 9・16 12・1 12・10	シティー・ループバス運行開始20周年 地下鉄新長田駅に副駅名「鉄人28号前」命名 西神・山手線 三宮駅構内でBGM放送開始 市バス開業80周年 「クリーンディーゼルバス」の新規導入開始 地下鉄「列車非常停止装置」全駅設置完了	4・1 4・6 4・24 6・5 7・17 7・23 8・6 9・18 10・16 11・19 12・1	東灘区制60周年 韓国・仁川広域市と姉妹都市提携締結 平城遷都1300年記念祭開催（～11／7） 上海万博で「神戸の日」を開催（～6／6） 神戸ブラージュ2010開催（～8／31） 韓国・大邱広域市と親善協力都市提携締結 阪神港が「国際コンテナ戦略港湾」に選定 北野工房のまち来館者1000万人突破 「KOBEデザインの日」として記念イベントを開催（10／15～17） 神戸市地域人材支援センターオープン 中央区制30周年 神戸こども初期急病センター診療開始

年 号	事 項	内 外 事 情
平成23年 (2011)	3・11 東日本大震災に伴う被災地への職員応援派遣。 3・19 地下鉄駒ヶ林駅に副駅名「三国志のまち」命名 4・ 1 市バス有野営業所の委託先を阪急バスに変更 「神戸市営交通事業経営計画2015」策定 7・ 7 地下鉄海岸線開業10周年	1・ 4 神戸市成年後見支援センター オープン 2・ 8 第5次神戸市基本計画及び神戸 市行財政改革2015策定 2・18 神戸市環境基本計画等4つの環 境関連計画を策定・改定 3・11 東日本大震災発生 3・18 新長田にKOBE三国志ガーデン 開園 3・21 王子動物園開園60周年 4・ 1 神戸市総合コールセンターの運 用開始 神戸市における暴力団の排除の 推進に関する条例施行 4・10 神戸市会議員選挙・兵庫県議 会議員選挙 4・ 4 神戸市、容器包装プラスチック 分別収集全市開始 5・17 神戸市下水道ネットワークシ ステム完成記念式典を実施 6・ 1 神戸市、原付ナンバープレート (オリジナルデザイン版) の交 付開始 6・20 京速コンピュータ「京(けい)」 がスパコンランキングで世界1 位に 7・ 1 神戸市、新中央市民病院が開院 7・ 7 市営地下鉄海岸線開業10周年 7・17 なでしこジャパン女子サッカー ワールドカップ優勝 9・ 1 灘区制80周年・須磨区制80周年 11・10 神戸市立図書館開館100周年 11・20 第1回神戸マラソン開催
平成24年 (2012)	4・ 1 KOBE PiTaPa STACIA NCカード発行開始 名谷駅で「えきバスビジョン」運用開始 3・17 「KOBE de 清盛」ラッピング車両(市バス・地下鉄)、 ヘッドマーク、1 dayパス 11・ 2 地下鉄「INAC神戸なでしこリーグ優勝」記念ヘッ ドマークの掲出	1・21 観光キャンペーン「KOBE de 清盛 2012」スタート 3・20 阪神三宮駅東エリアにおける三 層ネットワークの整備が完了し 供用開始 3・29 神戸市夜景景観形成実施計画策 定

年 号	事 項	内 外 事 情
		4・1 神戸市危機管理センターの供用開始 6・29 神戸市自転車利用環境総合計画策定 7・31 神戸市アジア進出支援センター開設 8・1 西区制30周年 8・14 神戸市、関西広域連合へ正式加入 9・28 スパコン「京（けい）」運用開始 10・1 新神戸トンネルが阪神高速道路へ移管される 神戸ハーバーランド街びらき20周年 10・6 デザイン・クリエイティブセンター神戸（愛称：K I I T O（きいと））グランドオープン 11・3 神戸市立博物館開館30周年
平成25年 (2013)	3・23 地下鉄全線で「交通系ICカードの全国相互利用サービス」開始 3・31 市バス全車両のバリアフリー化完了 4・1 駅構内公衆無線LANサービス開始 5・1 神戸市福祉乗車証のIC化対応 市バス9路線を民間事業者（阪急バス、神姫バス）へ移譲 8・1 ノエビアスタジアム神戸利用促進事業公募開始 10・1 神戸市交通局×リアル宝探し大富豪シーガルからの挑戦状の実施 10・17 大学との連携（こうべ市バス旅・市バスで行ける魅力のスポットプロジェクト） 12・6 消費税率引き上げに伴う市バス・地下鉄料金改定条例の可決	2・1 兵庫区制80周年 3・15 神戸市が低炭素社会の実現に向けた国の取組み「環境モデル都市」に選定される 4・1 神戸市における災害時の要援護者への支援に関する条例施行 神戸市「健康こうべ2017」「神戸市保健医・計画」が策定・運用開始 神戸市立友生支援学校の移転・開校 神戸港全域を船舶等の放置等禁止区域に指定（10月から適用） 4・9 「神戸市災害受援計画」を策定・発表 4・27 ファッション都市宣言40周年記念事業 6・26 富士山が世界文化遺産登録 8・1 北区制40周年 9・21 「スターツ2013卓球女子ワールドカップ神戸大会」が日本で初めて、中央体育館で開催

年 号	事 項	内 外 事 情
		11・20 久元市政発足 11・21 神戸ポートタワー開業50周年
平成26年 (2014)	3・18 バスIC定期券サービス開始 3・31 「神戸市交通局沿線NAVI」ウェブページの創設 4・1 市バス乗継割引制度開始 市バス・地下鉄運賃改定（消費税率5%から8%への引き上げに伴う料金改定） 7・1 地下鉄海岸線1キロきっぷ実証実験開始（9/30まで） 10・1 バス停ベンチの寄贈（ハートフルベンチ）募集開始 11・8 市バス八社巡り「神戸市交通局オリジナル御朱印帳」配布開始	3・5 全国初となる「こうべWエコ発電プロジェクト」（太陽光発電、バイオガス発電）を実施 3・6 神戸市、「災害に強い水道づくり」の一環として進めてきた応急給水拠点全47か所の整備完了 3・19 外国客船「クイーン・エリザベス」が初入港 4・1 神戸市ががん対策推進条例が施行 消費税が8%に増税 6・1 119番通報等における外国語同時通訳サービスの開始 7・31 市内の主要観光スポットや移動経路における「公衆無線LANサービス」サービスを開始 7・18 神戸ポートタワーが国の登録有形文化財に 9・3 神戸三宮フェリーターミナル完成 11・1 神戸灘の酒による乾杯を推進する条例が施行
平成27年 (2015)	1・17 地下鉄西神・山手線早朝ダイヤで臨時列車運行（震災20年「希望の灯り」黙とう時間に合わせて運行） 4・17 地下鉄トンネル一部区間で携帯通信サービス開始（新神戸駅－上沢駅間） 10・10 「夜景サミット2015 in 神戸」特別期間ボンネットバス特別運行 10・10 「KOBE乗継検索」の提供開始	3・2 神戸市がラグビーワールドカップ2019開催都市の1つに決定 4・12 神戸市議会議員選挙・兵庫県議会議員選挙 8・17 神戸ときめき商品券の発行及びKOBEトラベルギフトを販売 9・3 神戸市、都心の将来ビジョン・三宮再整備基本構想を策定 9・28 新長田への兵庫県・神戸市関係機関の共同移転を発表 10・1 「こうべ子育て応援メール」の配信を開始 三宮北部地域を客引き行為等禁止地区に指定 10・9 夜景サミットが開催され、日本新三大夜景都市として長崎・札幌・神戸が認定される

年 号	事 項	内 外 事 情
		11・3 まやビューライン（摩耶ケーブル・摩耶ロープウェー）が、昭和30年（1955年）の摩耶ケーブル運行再開以来の延べ乗客人数が2,500万人を達成 11・29 長田区制70周年
平成28年 (2016)	3・30 「神戸市営交通事業経営計画2020」を策定 3・31 地下鉄の全区間で携帯通信が利用可能に 4・17 熊本地震に関する（先遣隊）職員派遣 8・22 市営地下鉄西神・山手線、海岸線各駅ホーム・コンコースにおける広告枠を活用した、市政情報の発信を開始 11・24 地下鉄新神戸駅連絡通路のリニューアル工事完成 地下鉄西神・山手線の新型車両デザイン案が決定	1・1 マイナンバー制度運用開始 1・26 神戸市教育大綱を策定 2・16 神戸空港開港10周年。開港からの旅客数が累計2,500万人を突破 3・21 王子動物園開園65周年 3・29 「神戸市行財政改革2020」策定 「神戸2020ビジョン」、「神戸創生戦略（第2版）」及び区別計画を策定 3・30 神戸市、大容量送水管整備事業の完成 4・14 熊本地震発生 5・27 北野工房のまち、累計来館者数1,500万人を突破 6・19 公職選挙法等の一部を改正する法律施行、選挙年齢「満18歳以上」に 8・5 リオデジャネイロオリンピック開幕 8・22 まやビューライン・六甲有馬ロープウェー無料運行 9・11 G7神戸保健大臣会合が神戸ポートピアホテルで開催される 11・1 垂水区制70周年 11・13 神戸市、南海トラフ巨大地震発生に伴う津波警報発令想定訓練を実施

年 号	事 項	内 外 事 情
平成29年 (2017)	3・13 地下鉄西神・山手線開業40周年	1・1 神戸開港150年
	3・31 スルッとKANSAI対応カードの発売終了	3・30 市内初の商用水素ステーションの供用開始
	4・1 市バス「バスロケーションシステム」サービス開始	4・1 コミュニティバスの本格運行開始
	4・15 市バスでの交通系ICカード全国相互利用サービス開始	4・9 御影公会堂リニューアルオープン
	7・1 地下鉄海岸線中学生以下無料化社会実証実験開始	5・10 須磨海浜水族園開業60周年
	8・1 神戸市営交通開業100周年	10・1 ハーバーランドまち開き25周年
	9・24 「交通フェスティバルin名谷車両基地～B-FREE～」及び「100周年記念セレモニー」を開催	10・28 神戸空港 搭乗者数3,000万人突破
		11・22 こべっこランド開館30周年
	12・1 神戸医療産業都市にアイセンサー開設	

参 考 資 料

参考文献

神戸市電気事業買収顛末（電気局・大正6年）
十年間の神戸市電気事業（電気局・昭和2年）
昭和20年史（電気局・昭和12年）
市営バス10年（電気局・昭和15年）
配電事業出資記念誌（電気局・昭和17年）
神戸市交通局四十年史（昭和32年）
神戸市交通局六十年史（昭和56年）
さよなら神戸市電（昭和46年）
電気事業報告書（電気局・大正6年～）
交通事業報告書（昭和18年～）
電気局報（昭和4年～昭和11年）
神戸電気株式会社沿革小史（昭和4年）
神戸交通労働運動史（昭和55年）
神戸交通労働組合50年史（平成8年）
神戸市史本編（大正13年）
神戸市史第二集（昭和12年）
神戸市史第三集（昭和37年）
神戸市会史第一巻明治編（昭和43年）
神戸市会史第二巻大正編（昭和45年）
神戸市会史第三巻昭和編（昭和48年）
神戸市会史第四巻昭和編（昭和53年）
神戸実業要覧（神戸市・大正8年）
神戸市開港50年記念帖（大正10年）
神戸都市計画事業第1期道路改設顛末（大正14年）
神戸都市計画事業第2期道路改設大要（昭和4年）
神戸市水害誌（昭和14年）
都市政策第2号（昭和51年）
神戸市会成議録
神戸市会速記録
神戸市会会議録
神戸市都市整備公社「30年のあゆみ」
神戸市道路公社「20年の道程」
神戸市統計書
神戸市広報誌「こうべ」
神戸市広報誌「市民のグラフ神戸」

明治工業史（工学会・昭和3年）
琵琶湖疎水及び水力使用事業（京都市・昭和15年）
宇治電々回顧（林安繁・昭和17年）
関西配電社史（昭和28年）
バス事業50年史（日本乗合自動車協会・昭和32年）
鉄道の日本（交通博物館・昭和39年）
史料明治百年（朝日新聞社・昭和41年）
公営電気復元運動史（同史編集委員会・昭和44年）
六甲ケーブル40年史（昭和47年）
一億人の昭和史4（毎日新聞社・昭和50年）
関西電力25年史（昭和53年）

都市交30年史（昭和53年）
朝日年鑑（朝日新聞社・昭和42年～）
朝日年鑑2000（朝日新聞社）
20世紀年表（毎日新聞社）
神戸新聞百年史資料編（神戸新聞社）
日経都市シリーズ神戸（日本経済新聞社）
神戸又新日報

資料提供協力（敬称略）

神戸市会図書館
神戸市立博物館
神戸市文書館
神戸村野工業高校山人翁記念館
アジア・パシフィックプロダクションズ
長尾 裕
杉 修造
川崎重工業株式会社

神戸市交通局100年史

令和2年3月31日発行

発行 神戸市交通局
〒652-0855 神戸市兵庫区御崎町1丁目2番1号
<https://www.city.kobe.lg.jp/kurashi/access/kotsukyoku/index.html>

協力 神戸交通振興株式会社

印刷 福田印刷工業株式会社
〒658-0026 神戸市東灘区魚崎西町4丁目6番3号

本誌掲載の写真・図版類の複写・転載は堅く禁じます

神戸市広報印刷物登録令和元年度第712号(広報印刷物規格A-5類)